

## 予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成28年9月29日(金曜日)  
午前9時30分～午後4時44分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 猶 野 智 和 委 員 長 末 永 義 美 副 委 員 長  
竹 岡 昌 治 委 員 徳 並 伍 朗 委 員  
秋 山 哲 朗 委 員 安 富 法 明 委 員  
岩 本 明 央 委 員 山 中 佳 子 委 員  
三 好 睦 子 委 員 高 木 法 生 委 員  
岡 山 隆 委 員 秋 枝 秀 稔 委 員  
戎 屋 昭 彦 委 員 杉 山 武 志 委 員  
荒 山 光 広 議 長
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員  
綿 谷 敦 朗 議 会 事 務 局 長 野 尻 登 志 枝 議 会 事 務 局 係 長  
大 塚 享 議 会 事 務 局 係 長
6. 説明のため出席した者の職氏名  
篠 田 洋 司 副 市 長 岡 崎 堅 次 教 育 長  
石 田 淳 司 市 長 公 室 長 田 辺 剛 総 務 部 長  
大 野 義 昭 総 務 部 次 長 細 田 清 治 総 務 部 次 長  
藤 澤 和 昭 総 合 政 策 部 長 三 浦 洋 介 市 民 福 祉 部 長  
西 田 良 平 建 設 経 済 部 長 白 井 栄 次 建 設 経 済 部 次 長  
奥 田 源 良 総 合 観 光 部 長 倉 重 郁 二 美 東 総 合 支 所 長  
佐々木 彰 宣 秋 芳 総 合 支 所 長 杉 原 功 一 会 計 管 理 者  
松 永 潤 消 防 長 井 上 孝 志 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長  
小 田 正 幸 監 査 委 員 会 事 務 局 長 末 藤 勝 巳 農 業 委 員 会 事 務 局 長  
竹 内 正 夫 財 政 課 長 佐 伯 憲 一 監 理 課 長  
山 本 幸 宏 収 納 対 策 課 長 佐 々 木 昭 治 企 画 政 策 課 長  
中 嶋 一 彦 地 域 振 興 課 長 鮎 川 弘 子 市 民 課 長

福 田 泰 嗣	地域福祉課長	河 村 充 展	高齢福祉課長
池 田 正 義	生活環境課長	内 藤 賢 治	健康増進課長
東 城 泰 典	美東総合窓口課長	荒 川 逸 男	秋芳総合窓口課長
志 賀 雅 彦	農 林 課 長	中 村 壽 志	建 設 課 長
繁 田 誠	観光振興課長	安 永 一 男	観光総務課長
岡 田 健 二	美東建設経済課長	山 本 康 房	秋芳建設経済課長
千々松雅幸	教育総務課長	長 谷 川 裕	学校教育課長
古 屋 敦 子	生涯学習スポーツ推進課長	井 上 辰 巳	文化財保護課長
原 川 章	消防本部総務課長		

7. 会議の次第は次のとおりである。

午前9時30分開会

○委員長（猶野智和君） おはようございます。ただいまより、予算決算委員会を開会いたします。

委員の皆さん始め、執行部の皆さんには円滑な委員会運営に御協力いただきますようお願い申し上げます。また、荒山議長と竹岡委員にはオブザーバーとして御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、さきの本会議におきまして本委員会に付託されました議案1件につきまして審査いたしたいと思えます。なお、審査の日程でございますが本日と明日30日、及び10月3日を予備日とし、審査を進めてまいりたいと思えます。

また、一般会計決算の説明、質疑が全て終了した後、西岡市長が出席され、一般会計決算の総括質疑を行います。

なお、本日の審査の進め方ですが、一般会計の決算の説明にあたっては歳出の款ごとの審査といたしますが、款によっては所管部局が多数となるため、それぞれの部局からの説明をお願いいたします。

それでは、これより審査を始めます。なお、質疑については、簡潔明瞭に、また議題外の発言にならないよう御配慮をお願いいたします。

議案第85号平成27年度美祢市一般会計決算の認定についてを審査いたします。

なお、説明にあたっては歳入では収入未済額の大きなもの、歳出では主要事業、未執行の事業、及び不用額の大きなものなどについて御説明いただきたいと思えます。  
大野総務部次長。

○総務部次長（大野義昭君） 説明に入る前に本委員会での説明の仕方について、少し御説明申し上げます。

最初に、財政課長が総括的な説明を申し上げます。

続いて、主要施策成果報告書に記載してあります平成27年度一般会計主要施策実施状況の内容に沿って、担当課長が御説明申し上げます。

なお、説明者が多数になりますので、説明者の入れ替えを4回行います。従いまして、説明者の出席の都合により、説明の順番が前後する場合があります。

また、成果報告書に記載してある事業で、毎年、同じ内容の事業や特に補足説明を要しないものについては、説明を省略いたしますので、御了承をお願いいたします。

では、よろしくお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） それでは、竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） それでは、平成27年度美祢市一般会計決算の認定につきまして御説明申し上げます。

恐れ入りますが、お手元に配付してございます平成27年度主要施策報告書を御準備いただければと存じます。こちらによりまして、概要を説明させていただきます。

それでは、成果報告書の2ページをごらん願います。このページの表は、財政規模及び財政収支の状況を表示したものでございます。

まず、平成27年度の一般会計の決算規模でございます。歳入総額、A欄でございますが、171億6,811万6,000円を計上し、前年度の167億9,287万1,000円に対しまして3億7,524万5,000円、率にいたしますと2.2%の増となりました。

次に、歳出総額B欄でございます。162億722万2,000円を計上し、前年度の160億6,078万6,000円と比較いたしますと、1億4,643万6,000円、率にいたしますと0.9%の増となりました。

この結果、形式収支であります歳入歳出差引額、C欄でございますが、9億6,089万4,000円を計上いたしておりますが、この中には、本年6月議会で報告をいたしました国の補正に伴う情報セキュリティ強化対策事業や災害復旧事業などについて繰越明許費として翌年度へ繰り越すべき一般財源、Dの1億3,238万7,000円を含んでおりますことから、これを差し引きました平成27年度実質収支は、(ロ)ですが、8億2,850万7,000円となったところであります。

また、今年度の収入には前年度の実質収支の繰越金が引き継がれておりますことから、前年度の実質収支額(イ)の7億2,682万9,000円を差し引きました平成27年度の単年度収支につきましては、F欄でございますが、1億167万8,000円のプラスとなったところでございます。

さらに、この単年度収支に基金積立や取崩しなど赤字要素と黒字要素を加味いたしましたものが実質単年度収支となり、平成27年度におきましては基金の積立、ここでは財政調整基金のみでございますが、G欄に記載のとおり79万7,000円行い、繰上償還並びに積立金取崩しは行っておりませんので、平成27年度の実質単年度収支につきましては、表の一番下でございますが、1億247万5,000円となったところであります。

以上が、平成27年度決算におきます財政規模及び決算収支の状況でございます。  
続きまして、決算の内容につきまして、最初に歳出の状況について御説明を申し上げます。

恐れ入りますが、成果報告書の10ページをお開き願います。

ここでは、目的別歳出内訳をお示しいたしております。

平成27年度の決算額については表の最下段でございます。先ほど申し上げましたように162億722万2,000円で、前年度と比較いたしまして1億4,643万6,000円、0.9%の増となっております。

また、最終予算額は、その左側で170億1,411万1,000円でございますが、この予算額に対します執行率は95.3%となっております。

目的別の決算額で、構成比の大きいものから順に申しますと、まず民生費が42億7,717万6,000円で構成比が26.4%、2番目が総務費で25億7,740万4,000円、構成比15.9%、3番目が公債費で21億1,854万円、構成比13.1%などとなっております。

次に、主な増減につきまして、費目の順番で御説明をさせていただきます。

まず、議会費でございますが、決算額1億6,388万5,000円で、前年度対比で470万7,000円、3.0%の増となっております。この主な要因は、一般備品購入の増によるものです。

次の総務費でございますが、財政調整基金への積み立てへの減などにより、4億7,512万9,000円、15.6%減の25億7,740万4,000円となったところであります。

次の民生費につきましては、認定こども園に対する運営費補助などの増により、1億9,787万5,000円、4.9%増の42億7,717万6,000円を計上しております。

次の総務費につきましては、カルストクリーンセンター管理運営事業の事業費減などにより、6,168万4,000円、3.0%減の19億9,867万4,000円を計上しております。

次の労働費につきましては、勤労青少年ホームトイレ改修工事の増などにより、前年度比、244万3,000円、4.8%増の5,387万円を計上しております。

次の農林費につきましては、多面的機能支払事業などの増により、前年度比5,

486万7,000円、5.8%の増の10億393万9,000円を計上しております。

次の商工費につきましては、観光事業特別会計への繰出金の増加により、前年度比2億360万6,000円、75.8%増の4億7,232万5,000円となったところであります。

土木費におきましては、美祢さくら公園整備事業や橋梁点検委託料の増などにより、6,446万7,000円、5.6%増の12億1,869万7,000円を計上しております。

次の消防費につきましては、消防救急無線デジタル化共同整備事業の事業量の減少に伴い2億3,826万2,000円、29.7%減の5億6,350万9,000円となったところであります。

次の教育費につきましては、小中学校非構造部材耐震化事業や秋芳中学校プール整備事業などの増により対前年度3億74万9,000円、23.5%増の15億8,287万2,000円を計上いたしております。

次の災害復旧費につきましては、災害復旧事業の増加に伴い、1億6,636万2,000円、1,668.8%増の1億7,633万1,000円となっております。

次に、公債費につきましては、償還金の減少により、7,356万5,000円、3.4%減の21億1,854万円を計上したところであります。

続きまして、性質別歳出内訳について御説明申し上げます。資料の11ページでございます。

まず、消費的経費についてであります。3維持補修費におきまして、道の駅改修に係る経費などの増や、4扶助費における認定子ども園に対する補助、また5補助費における多面的機能支払事業や農地中山間管理事業の増などにより、消費的経費全体では、前年度比2.8%増の103億7,703万5,000円となったところであります。

次に、投資的経費につきましては、前年度と比較して1億9,555万円、16.7%増の13億6,631万3,000円を計上しております。

まず、1の普通建設事業費についてであります。この詳細について御説明をさせていただきますので、この成果報告書の13ページをお開き願います。

13ページの上の表、目的別普通建設事業費の内訳をごらんいただければと存じま

す。

まず、総務費につきましては、平成27年度、2,197万7,000円を計上しております。主に、美祢駅に整備したにぎわい創造Mineステーション整備事業の完了や市民会館改修の減などに伴い、前年度と比較して5,738万2,000円、72.3%の減となったところであります。

次に民生費では、施設に対するスプリンクラー改修事業の完了などにより、201万3,000円、24.3%減の626万7,000円を計上いたしております。

次に、衛生費につきましては、カルストクリーンセンター管理運営事業に係る経費の減などにより、9,464万6,000円、73.7%減の3,371万7,000円を計上しております。

次に、労働費につきましては、勤労青少年ホームのトイレ改修工事の実施に伴い皆増の732万8,000円を計上しております。

次に、農林費につきましては、需要対応型産地育成事業や河川工作物改修工事の減などにより、5,580万4,000円、28.1%減の1億4,269万4,000円を計上しております。

次に、商工費では、大岩郷施設改修工事の実施に伴い、4,134万2,000円、262.7%増の5,708万2,000円を計上しております。

次の土木費につきましては、美祢さくら公園の整備や社会資本整備総合交付金事業の増などにより、2,459万8,000円、8.3%増の3億2,251万8,000円となっております。

次に、消防費におきましては、消防救急無線デジタル化共同整備事業の事業費の減に伴い、2億4,192万9,000円、82.3%減の5,206万5,000円を計上しております。

教育費におきましては、小中学校非構造部材耐震化事業や秋芳中学校プール整備、秋芳テニスコート整備などにより4億219万5,000円、291.2%増の5億4,033万4,000円を計上したところでございます。

以上、合計いたしまして、その表の1番下であります。前年度と比較して2,368万9,000円、2.0%増の11億8,398万2,000円となったところでございます。

それでは、恐れ入りますが、再び、11ページへお戻り願います。

性質別歳出内訳の説明を続行させていただきます。次に、その他についてであります。

まず、1積立金につきましては、財政調整基金や減債基金への積立てなどの減に伴い、前年度と比較して3億8,184万6,000円、37.6%減となる6億3,467万円をゆたかなまちづくり基金や、ふるさと美祢応援基金等に積み立てたところであります。

次に、2投資及び出資金・貸付金につきましては、7,765万5,000円、112.5%増の11億4,665万9,000円を計上し、投資及び出資金として水道事業会計及び病院等事業会計に対しまして3,570万円を、貸付金として中小企業融資制度事業や観光事業特別会計に対する貸付金1億1,095万9,000円をそれぞれ計上いたしております。

次に、3繰出金につきましては、国民健康保険事業特別会計へと繰り出すもので、前年度と比較して4,481万4,000円、2.9%増の15億6,400万5,000円を計上しております。

以上、その他全体では2億5,937万7,000円、10.0%減の23億4,533万4,000円となったところであります。

なお、繰出金の内容につきましては、本報告書の16ページに掲載してございますので、後程、お目通しをいただければと思います。

以上が、歳出の説明となります。

続きまして、歳入の状況について御説明をさせていただきます。恐れ入りますが、本報告書の3ページまでお戻り願います。

それでは、このページに掲載された歳入内訳によりまして、御説明をさせていただきます。

平成27年度の歳入決算額は、表の最下段に記載されておりますとおり171億6,811万6,000円となり、前年度と比較いたしますと3億7,524万5,000円、率にして2.2%の増となったところであります。

まず、表の上半分の依存財源についてであります。主なものは表の中ほどにあります地方交付税でございます。決算額につきましては71億1,981万2,000円となっております。

平成27年度から普通交付税については、合併算定替えの逡減期間に入り減少いたしました。災害復旧事業等の増加に伴い特別交付税が増加したため、前年度と比較して2,304万1,000円、0.3%の微減となったところでございます。

次の利子割交付金、配当割交付金及び株式等譲渡所得割交付金につきましては、株式市場の動向を反映し、利子割交付金では前年度比126万1,000円、15.4%減の691万3,000円、配当割交付金については、前年度比638万2,000円、29.9%減の1,497万8,000円、株式等譲渡所得割交付金につきましては、前年度比372万2,000円、34.0%増の1,466万2,000円となったところであります。

次に、地方消費税交付金につきましては、平成27年度から通年で消費税増税の効果が反映されていることに伴い2億1,645万1,000円、71.3%増の5億2,016万2,000円を計上しております。

次に、ゴルフ場利用税交付金につきましては、利用者の減少に伴い1,366万6,000円、44.0%減の1,737万9,000円を計上しております。

次に、自動車取得税交付金につきましては、消費税増税の買い控えの反動から、1,503万6,000円、71.4%の増の3,610万4,000円を計上いたしております。

次に、三つ飛ばしまして、国庫支出金につきましては、地域住民生活等緊急支援のための交付金や普通建設事業等の増加により、3億5,598万2,000円、29.5%増の15億6,408万円を計上いたしております。

次に、一つ飛ばしまして、市債につきましては、臨時財政対策債などの減少により、7,010万円、4.8%減の13億8,550万円を計上しております。

以上、依存財源全体では120億599万5,000円となり、前年度と比較いたしまして6億2,950万1,000円、5.5%の増となったところであります。

次に、下半分の自主財源についてであります。まず、主なものは市税でありまして、前年度比2,437万6,000円、0.7%増の34億7,298万円を計上しております。

なお、市税の概要と収納状況につきましては、後ほど、担当課長よりそれぞれ御説明をいたしますので、ここでは省略をさせていただきます。

次に、分担金及び負担金につきましては、3,901万7,000円、28.4%の

減となっております。これは、主に保育料の多子軽減の事業開始によるものです。

次に2つ飛ばしまして、寄附金につきましては、1億2,233万1,000円で、3,311万3,000円、37.1%の増となっておりますが、これは、ふるさと美祢応援寄附金、いわゆるふるさと納税の増加によるものです。

次に、繰入金につきましては、退職手当基金、ふるさと美祢応援基金及びすこやか子育て基金を繰り入れることにより、前年度比16.5%増の6,468万8,000円となったところであります。

次に、諸収入につきましては、スポーツ振興くじ助成金などの増により、1,322万9,000円、5.2%増の2億6,982万9,000円となったところであります。

以上、自主財源につきましては、前年度と比較して2億5,425万6,000円、4.7%減の51億6,212万1,000円となったところであります。

続きまして、基金の状況について御説明申し上げます。恐れ入りますが、本報告書の15ページをお開き願います。

15ページの基金の状況という表に基づいて御説明をさせていただきます。

ここでおことわりでございますが、表の上の米印で記載のありますとおり、表の数値は3月末時点でございます。従いまして、出納閉鎖期間中に増減したものは、これは反映されておられませんので、御了承をお願いいたします。

これは、決算書の末尾に掲載してございます財産に係る調書、及び監査委員意見書に記載された基金の額との整合を図ったものでございます。

それでは、基金の状況でございます。平成27年度末の基金の総額は、表の最下段、右端にございますとおり、57億8,324万7,000円となりました。

主に、今後の地方交付税の合併算定替えの特例期間の終了に伴う一般財源の減少や庁舎等の整備に備え、ゆたかなまちづくり基金や庁舎等整備基金等に積立てを行い、前年度末から4億4,054万8,000円の増となったところであります。

次に、市債の状況について御説明を申し上げます。恐れ入りますが、本報告書の19ページをお開き願います。

19ページにおきましては、平成27年度末の市債現在高の状況を目的別にお示しをいたしております。

平成27年度末の未償還元金合計額は、表の最下段、右から2番目にありますとお

り、183億3,631万7,000円となり、前年度末と比較いたしますと5億3,328万7,000円の減となっております。

では、平成27年度の普通債における起債の主なものについて御説明を申し上げます。

まず(2)民生債におきましては、社会福祉協議会運営補助事業債、福祉医療助成事業債であります。

次の(3)衛生債につきましては、医師確保対策事業債が主なものでございます。

それから、その1つ下の、(5)農林債では、農業施設整備事業債、(6)商工債では、観光施設整備事業債、(7)土木債では道路新設改良債、一つと飛ばしまして、(9)消防債では、消防車の整備に伴う消防施設整備事業債、最後に、(10)教育債につきましては、小中学校の非構造部材耐震化補強事業債及び学校施設整備事業債が主なものとなっております。

平成27年度の美祢市一般会計決算の概要につきましては、以上でございます。

引き続きまして、各担当課長から、平成27年度の主要施策につきまして、御説明を申し上げますので、どうぞよろしく願いたします。

○委員長(猶野智和君) 説明が終わりました。これからは、一般会計の個別事項について説明を求めます。

まず、議会費を議題といたします。事務局より説明を求めます。綿谷議会事務局長。

○議会事務局長(綿谷敦朗君) それでは、主要施策成果報告書の32ページをお開きください。決算書は、36ページでございます。

最上段となりますが、議会費におきまして総額で1億6,388万4,000円を執行しております。主な事業といたしまして、議会だより発行事業135万7,000円を執行しております。

以上で、説明を終わります。

○委員長(猶野智和君) 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(猶野智和君) 質疑なしと認め、質疑を終わります。次に、総務費を議題といたします。執行部より説明を求めます。大野総務部次長。

○総務部次長(大野義昭君) それでは、引き続きまして総務費の主な事業等について

御説明申し上げます。主要施策成果報告書は同じく32ページ、歳入歳出決算書の36ページになります。2款総務費・1項総務管理費・1目一般管理費であります。

1 障害者雇用推進事業において、障害者の雇用創出及び市の取組に対する広報活動に248万9,000円を支出しております。これは、障害者雇用拡大に向けた非常勤職員2名分の報酬及び雇用保険料等と市の取組を広く情報発信するための委託料でございます。

2 職員研修事業において、128万1,000円を支出しております。主な研修事業として、新規採用職員研修、おもてなし向上研修、市民満足度アンケート及びおもてなし研修会、メンタルヘルス個別研修等を行っております。

3 防犯灯整備事業に80万円を支出しております。内訳は、新規設置が10基、LED等への器具の取り替え等が61基となっております。

4 市例規集等整備事業に804万2,000円を支出しております。これは、法制執務事務の効率化とデータ更新作業を適正に実施するため、市例規作業業務、要綱整備業務、行政手続更新支援業務、行政不服審査法例規支援業務の委託料と例規・現行法令システム等の使用料でございます。

○委員長（猶野智和君） 中嶋地域振興課長。

○地域振興課長（中嶋一彦君） その下ですけれども、5マイナンバー電算対応業務でございますけれども、4,713万1,000円支出しております。これは、庁内電算管理業務のうち、マイナンバー制度に対応可能な住民情報系システムの改修や中間サーバー系ネットワーク等の整備に係る委託料でございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） 続きますして、6無料法律相談事業の経費としまして35万円を支出しております。これは、毎月開催しております弁護士による無料法律相談に係る経費で、昨年度12回の開催、54件の相談をお受けしております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 杉原会計管理者。

○会計管理者（杉原功一君） それでは、4目会計管理費でございます。

1 公費支払いのための振込手数料として387万8,000円、2市税等納入の口座振替のための手数料として96万1,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 佐伯監理課長。

○監理課長（佐伯憲一君） 続きまして、右ページ、33ページでございます。

5目財産管理費でございます。1サイクルポート整備事業として191万2,000円を支出しております。これは、厚保駅にあります老朽化した自転車駐輪場を整備したものでございましてサイクルポート施設整備を実施したことによる工事請負費でございます。

続きまして、2番住宅団地管理販売事業といたしまして920万1,000円を支出しております。これは、主に美祢市住宅団地の分譲地販売に伴う新聞折り込み広告等による広告料及び美祢市住宅団地における分譲地、未分譲地の維持管理をするための草刈り等の委託料でございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 続きまして、その下、目の6企画費でございます。

1まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業としまして、902万2,000円を支出しております。この事業は平成26年度一般会計補正予算（第9号）に予算計上し、平成27年度に繰り越して実施した事業でありますけれども、特定財源として、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金901万3,180円を充当しております。事業内容としましては、外部の委員で構成する美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を4回開催し、平成27年10月29日に美祢市人口ビジョンと美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しております。

次に、その下2公共施設マネジメント推進事業としまして、124万1,000円を支出しております。この事業内容としましては、平成29年の公共施設等管理計画策定に向け、5月に公共施設あり方検討委員会委員による市内施設の現地視察を行うとともに、山口大学と協働して、11月に美東センターにおいて、また12月には秋吉公民館において、施設の利用者との意見交換会を開催しております。

続きまして、その下3漫画・アニメ活用推進事業としまして、472万8,000円を支出しております。この事業は、平成27年度から開始した事業でありますけれども、美祢市ふるさと交流大使であります苑場凌氏が代表を務める「みね友善塾」に業務委託し、小・中学生や高校生、社会人を対象とした漫画塾を開催し、延べ

24回開催しまして、延べ208人の参加がありました。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 中嶋地域振興課長。

○地域振興課長（中島一彦君） 続きまして、その下ですけれども、4情報通信施設運営事業でございますが、美祢市有線テレビ放送施設指定管理委託料として、9,071万1,000円を支出しております。指定管理期間でございますが、平成27年4月から平成32年3月までの5年間となります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 佐々木政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） それでは、一枚めくっていただきまして、34ページをごらんください。

目の10、活性化対策費でございます。1美祢IJU促進事業としまして、499万9,000円を支出しております。この事業では、3分間の美祢市への移住プロモーション動画を制作し、総務省が開設しました、移住などの情報が集められたインターネットのサイト、いわゆるポータルサイトであります全国移住ナビに掲載するとともに、福岡市内等において放映を行っております。

次に、2Mineワクワク住マイル事業としまして、338万1,000円を支出しております。この事業は、平成26年8月1日以降に、美祢市内で自宅を取得された、補助要件を満たす市民に対して、補助金を10年間に分割して交付するものであり、各年度ごとの補助金の交付方法は、3万円までは美祢市商工会が発行する商品券とし、それ以上の金額の部分は口座振込として交付しております。なお、補助金交付の状況は、表のとおりとなっております。

続きまして、3ハッピー・シニアタウン事業としまして、476万3,000円を支出しております。この事業は、特定財源として、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金を支出額と同額充当しております。

具体的な事業内容としましては、3回にわたる美祢市生涯活躍のまち構想策定有識者会議の審議を経て、美祢市生涯活躍のまち構想（案）を取りまとめるとともに、市民への意識啓発を図ることを目的として講演会を開催しております。

続きまして、4ふるさと美祢応援寄附金事業としまして、1億8,417万7,000円を支出しております。この事業は、いわゆるふるさと納税と言われる制度で

ありまして、寄附金をふるさと美祢応援基金に積み立てるとともに、寄附者へは返礼品を送付するものであります。

支出額1億8,417万7,000円の内訳の主なものを申し上げますと、ふるさと美祢応援基金への積立金が1億1,960万5,133円、本市の農産物などの返礼品の代金も含めました配送事業者等への委託料が6,267万9,462円、郵券や手数料等の役務費が178万9,062円となっております。

続きまして、5美祢魅力発掘隊設置事業としまして、28万6,000円を支出しております。この事業は、いわゆる地域おこし協力隊を配置する事業でありまして、平成27年度から新たに組み組んだものでございます。

具体的には、美東町赤郷地域を中心として活動を行う地域おこし協力隊員を1名採用し、平成28年4月から活動を開始しております。

続きまして、目の11ふるさと創生事業費でございます。1ふるさと人材育成事業としまして、227万5,000円を支出しております。この事業では、8月に市内の中学生12人を台湾に派遣し、本市と友好交流を行っております南投県水里郷の中学生と交流を行っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 中嶋地域振興課長。

○地域振興課長（中島一彦君） 続きまして、その下ですけれども、13目公共交通対策費でございます。1JR美祢線利用促進事業でございますけれども、130万円を支出しております。

これは、JR美祢線利用促進協議会への負担金として、JR美祢線沿線3市が同額を負担しておりまして、H27年度は観光列車の運行、JR美祢線利用助成事業、幼保交流事業等に要した経費が主なものでございます。

続きまして、右の35ページになりますけれども、2ミニバス運行事業でございますが、2,217万5,000円を支出しております。これは、既に運行しております6地域に続き、平成27年10月から東厚保町川東・大嶺町西分地域の運行も開始いたしました。それら全7地域の運行経費に要するものでございます。

続きまして、2生活バス路線維持費補助事業でございますが、1億3,135万4,000円を支出しております。

これは、生活交通の確保と維持を目的といたしまして、アンモナイト号を走らせて

おります船木鉄道株式会社をはじめとする市内路線バス事業者6社への補助金の合計額でございます。

続きまして、14目スプリング美祢フォース推進費、1駅舎地域交流ステーション事業でございますが、365万3,000円を支出しております。

これは、JR美祢線の利用促進を図ると同時に地域交流の場として、地域住民が自由に交流できる施設として活用するという目的により開設し、運用しております、於福・厚保地域交流ステーションの指定管理委託料が主な経費でございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 続きまして、少し飛んでいただきまして、その下の目、目の20スプリング美祢サード推進費でございます。1美祢ジオパーク活動応援事業として、472万3,000円を支出しております。

この事業は、平成26年度一般会計補正予算（第9号）に予算計上し、平成27年度に繰り越して実施した事業であり、特定財源として、国の地域住民生活等緊急支援のための交付金を支出額と同額を充当しております。

平成27年度は、ジオパークの認定に資する活動に取り組んだ12団体に補助金を交付しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） それでは、ページをめくっていただきまして36ページをお開きください。

3項戸籍住民基本台帳費・1目戸籍住民基本台帳費、決算額は8,556万1,000円でございます。主要施策として、1個人番号カード管理業務経費808万6,000円を支出しております。

これは、平成27年10月から始まったマイナンバー制度に伴うもので、一人一人の方に自分の番号をお知らせする通知カードを世帯ごとに送付し、またプラスチック製で写真付きの個人番号カードを申請者に交付する等を本庁及び総合支所で行ったものでございます。

次に、2窓口延長事業として7万4,000円を支出しております。

これは、住民異動の多い年度末、年度始めにおきまして、市役所の本庁及び各総合

支所の窓口時間を平日に延長し、また休日に開設することで、住民サービスの向上を図ったものでございます。利用件数は延べ114件となっております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 井上選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（井上孝志君） その下、4項選挙費・1目選挙管理委員会費ですが、1,661万1,000円を執行しております。

これは、通常の選挙管理委員会の業務に使ったものでございます。

2目県議会議員選挙費ですが、告示が平成27年4月3日、投票が平成27年4月12日で行われました。これに関わる経費を1,329万円を執行しております。

次に、3目市長選挙及び市議会議員選挙費。これにつきましては、告示が28年4月10日、投票が4月17日で実施いたしました。27年度から特に看板とかの委託料関係で1,962万9,000円を執行しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 中嶋地域振興課長。

○地域振興課長（中嶋一彦君） 続きまして、その下ですけれども、5項統計調査費・1目指定統計調査費でございます。

1国勢調査業務でございますが、これは5年ごとに行われます国勢調査業務に関わる経費といたしまして、1,361万1,000円を支出しております。

財源は全額県からの委託金によるものです。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 細田総務部次長。

○総務部次長（細田清治君） それでは、歳入の市税の概要について、御説明いたします。

6ページをお開きください。

平成27年度の市税の決算額は34億7,298万円で、歳入総額の20.2%、自主財源の67.3%を占めております。調定額は、前年度から246万9,000円の減でございますが、決算額は徴収率の向上により2,437万6,000円の増となっております。

税目別でございますが、区分1の市民税は、調定額14億6,492万7,000円、決算額14億3,446万7,000円、前年度から決算額が7,

650万円の増となっております。これは、個人市民税は人口減に伴う納税義務者数の減少により減収となっておりますが、法人市民税で一部の事業所で企業収益が好調なところがあり増収となっているところによるものです。

区分2の固定資産税は、調定額17億5,710万2,000円、決算額16億2,956万7,000円、前年度から、決算額が4,777万2,000円の減となっております。これは、土地、家屋について、平成27年度は評価替え年度で、土地は地価の下落により、家屋は建築後の経過年数により評価が下がったことにより、それぞれ減額となったことが主な要因です。

区分3の軽自動車税は、調定額8,739万9,000円、決算額8,340万9,000円、前年度から、決算額が251万7,000円の増となっております。

これは、平成27年4月1日以降に新規登録をした4輪等の軽自動車に新税率が適用されることから、新税率適用前の駆け込み需要等によるものと思われます。

区分4の市たばこ税は、調定額、決算額とも1億7,038万6,000円で前年度から195万1,000円の減、区分5の鉱産税は、調定額、決算額とも6,023万8,000円で前年度から149万4,000円の減、区分6の入湯税は、調定額、決算額とも129万円で、前年度から21万8,000円の増となっております。

区分7の都市計画税は、調定額9,798万6,000円、決算額9,362万3,000円、前年度から決算額364万2,000円の減となっております。これは、固定資産税同様で、評価替えによるものでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 山本収納対策課長。

○収納対策課長（山本幸宏君） これまでに財政課長、それから総務部次長兼税務課長が歳入の市税の概要について御説明いたしましたが、ここでは市税の収納状況、主に徴収率について御説明させていただきます。

資料は、平成27年度美祢市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書の40ページ、41ページをお開きください。

ここには、市税全体から固定資産税のうち、国有資産等所在市町村交付金及び納付金、市たばこ税、鉱産税及び入湯税を除いたもの、すなわち市民税、固定資産税、軽自動車税、それから都市計画税の主要4税の収納状況が示されております。

主要4税全体および各税目ごとの平成25年度から平成27年度までの現年度分、滞納繰越分に区分された調定額、収入額、不納欠損額、収入未済額及び徴収率が記載されております。

初めに主要4税全体の収納状況について御説明させていただきます。40ページの上段に主要4税全体を集計した収納状況が示されております。

平成27年度の徴収率は現年度分、滞納繰越分合計で95.1%、前年度対比0.8ポイント上昇となっております。

続いて、各税目ごとの収納状況について御説明させていただきます。まず、市民税につきましましては40ページの中段(ア)の個人市民税の平成27年度の徴収率は、現年度分、滞納繰越分合計で97.2%、前年度対比0.2ポイント上昇。40ページの下段(イ)の法人市民税の平成27年度の徴収率は、現年度分、滞納繰越分合計で99.5%、前年度対比0.5ポイント上昇となっております。

続いて、41ページの上段(ウ)の固定資産税につきましましては平成27年度の収納率は現年度分、滞納繰越分合計で92.7%、前年度対比0.9ポイント上昇となっております。41ページの中段(エ)の軽自動車税につきましましては平成27年度の収納率は現年度分、滞納繰越分合計で95.4%、前年度対比0.8ポイント上昇となっております。

最後に41ページの下段(オ)の都市計画税につきましましては、平成27年度の収納率は、現年度分、滞納繰越分合計で95.5%、前年度対比1.7ポイント上昇となっております。

以上です。

○委員長(猶野智和君) 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。三好委員。

○委員(三好睦子君) 数点お尋ねいたします。まず始めにちょっと聞き逃したんですけども、ふるさと納税の34ページの4番のふるさと美祢応援寄附金事業で配送業者に委託って言われましたような気がしたんですが、この金額はいくらだったんでしょうか。お尋ねします。

○委員長(猶野智和君) 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長(佐々木昭治君) 三好委員の御質問にお答えいたします。ふるさと美祢応援寄附金事業につきまして、委託料は6,267万9,462円ですけれども、

そのうち、J T B西日本という返礼品等の送付事業を委託しております事業者には6,159万9,462円支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） これでですね、送料がこの中に入っているということなんですが、送料のみはいくらか分かりますか。さきほどの六千二百何ぼでいいんでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 分かりますか。佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 三好委員の再質問にお答えをいたします。さきほど申しました委託料の中の内訳として送料がいくらかという御質問ですけれども、そちらの内訳については、こちらのほうでは把握しておりません。

このJ T B西日本のほうにお支払いしている業務委託料の中には、商品代と並びに送料代、商品の送料代、並びにJ T B西日本の事務経費等が入っておってその金額となっておりますので、送料だけを抜いた金額という形ではこちらのほうでは把握しておりません。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。3回目になりますので、お願いします。

○委員（三好睦子君） あのですね、このふるさと納税の、わかりました。送料についてですけれど、以前にですね、3月議会だったような気がするんですけど、美祢観光開発の決算報告の時に、費用がえらい高いと。高いので、どうしてかと聞きましたらふるさと納税に返礼品の送料と説明いただきました。27年度、26年度。それで聞きましたけど。たしか91万あったように記憶しておりますが……美祢観光開発の説明なんですけど、27年度の送料が高いのでどうしてかと聞きましたらふるさと納税の送料だから、91万4,000円あるんですね。どうしてかと聞きましたら、ふるさと納税の商品の送料だという説明がありましたが、今の説明では違うような気がします。どのような見解なのでしょう、お尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 三好委員の再質問にお答えいたします。三好委員が御質問された美祢観光開発における、ふるさと納税の送料についての費用については、それは私どもの美祢市のほうにお支払いされたのではなくて、J T B……私どもがJ T B西日本のほうに委託してますのでJ T B西日本が美祢観光開発にですね、美祢観

光開発もふるさと納税の商品を取り扱っていただいておりますので、JTB西日本から美祢観光開発のほうに依頼がかかって、そのふるさと納税の発送に関わる商品、送料代ってというのはですね、JTB西日本のほうにお支払いされているものだと考えます。私どものほうに——直接私のほうから送料をお支払いしているものではございません。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんでしょうか。別件で。ほかの方いらっしゃいませんね。では、三好委員。あ、では先に、安富委員。

○委員（安富法明君） 今の三好議員のふるさと納税の関係で2、3お聞きをしたい点がございます。件数にして、5,651件、1億——金額にして1億約2,000万近くの寄附ということになるんですが、大変ありがたいことなんですが、これについて、市としては入ってくるほうはいいんですが、逆に出ていくほうですよ。美祢市から他の市町村へ寄附される方っていう情報っていうのはある程度調べておられるのかっていうこれがまず1点。一緒に言います。

あとですね、一旦基金として積みたてて、取り崩していくっていうんですが、まあ大体その入ったものを取り崩しておられるような感じになっていると思うんですが、歳入のほうでは一般財源扱いになってますよね。私思うんですが、やはり使い方として、なんか特定寄附のような形といいますか、これをふるさと納税の寄附によって学校建設の一部に使いましたよとかっていうふうな形で使う。よく、あります。住宅を公的資金で借りてつくったよっていうときに看板でも立ててます。そういうふうな感じのですね、ことができないもんだらうか。

で、これに関連して返礼品について今三好委員のほうから質疑があったわけですが、返礼品っていうものが、美祢市の特産品がその送られているってのは大体想像がつくんですが、どの程度のものをどういうふうな感じで地域振興に役立っておるのかっていう辺がいま一つよくわかりません。品物とかですね。で、寄附に対する6,000万程度っていうことですから大体金額的には分かるんですが、そういうふうな感じのですね、返礼品について昨今大変高額の返礼品で社会的な議論にもなっております。国の方の指導も多少あったようです。その辺の件についてどのように考えて執行されたのか。

それともう一つこの返礼品をするのに合わせて、竹岡委員のほうからよく出るんで

すがC C R C、まちづくり構想ですよね。こういうふうな感じでさきほど言いました納税者の、こういう場合寄附者ですね、この場合。その情報がつかめておればですね、広報とか、美祢市としての情報が相手の方に伝わっておるんだらうか、要するに美祢も頑張っ……返礼品だけが目的で寄附される方だけとは限らないと思っておるから申し上げておるわけですが、そういう方たちに対してですね、美祢市としてのまちづくりの情報等が流れてですね。UターンであるとかIターンであるとかいうふうな感じの政策的なものにですね、成果として結びつくような視点で利用されておるといふか取り組まれておるかどうか、まずこの点についてお聞きをします。

○委員長（猶野智和君） 細田総務部次長。

○総務部次長（細田清治君） 今の委員の最初の御質問ですが、美祢市から他の市町への自治体への寄附の状況でございますが、平成27年中に寄附をされて平成28年度の課税で市民税の税額控除を受けられた方が、88名いらっしゃいます。それで寄附金額ですが、374万1,300円。市民税の税額控除といたしまして172万4,201円となっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 安富委員の御質問にお答えいたします。まず何点かございましたけれども、まず1点目。取り崩してそれを事業に充てるにあたって看板等の設置等ができないかという御質問の趣旨だったかと思っておりますけれども、平成27年度におきましては、ふるさと美祢応援基金繰入金として、5,519万5,000円ほど繰り入れております。

これには、具体的にどういうふうに使われたかといいますと、美祢さくら公園の遊具の設置、道の駅の活用——道の駅における、美東の道の駅の遊具の設置に係る財源等に使っております。

なお、さきほどおっしゃいましたように看板をつけるということについては、私も考えておりました今後積極的に御寄附をいただいた方のお金でできているんだというのを目に見えるような形でしていきたいと考えております。

続きまして、返礼品の地元への還元率です。さきほどおっしゃいましたように地元、業者には6,159万9,462円ほど支出しておりますけれども、そのうちの例年でいきますと92、3%が送料と商品代になっておると考えております。こちらのほ

うでは。若干送られる商品によって、違いますので微妙なところはちょっと調べておりませんがその程度は還元できておるのではないかと思います。

ただ、送られる商品、返礼品の商品の中には旅行のですね、パツク的なものもありますので単純に商品が、というか農産物が動いたとか、そういうふうなものではないですけど、こういうふうな形で美祢市にお越しいただいているということも考えられるとっております。

続きまして、高額な返礼品についての対応ですけれども、私どもではさきほどおっしゃいましたように総務省からも指摘がありますので、そのような高額な商品はありません。ただ、商品的に高額なものを求められる場合が最近をよくありますので、適切な商品を返礼品として提供していきたいと私どもは考えております。

続きまして、寄附者への美祢市の情報提供ということでしたけれども、私どもは以前の市議会の御質問等でも同様の質問がありまして、私どもはずっと美祢市の定住情報を寄附の領収証をお送りする際に一緒に同封してお送りするようにしております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） 分かりました。寄附の使い方できくら公園の遊具を新しくなってきたようになってます。あれをこのふるさと納税の一部を使って改修、つくりましたよってというふうなのはかなり効果があると思いますし、またそういうふうな写真でもあるいは広報とか周知させるためにも、そういったものをですね、なんといいですか、今領収証を送る時に市の広報を届けてますよってというふうにとれたんですけども、そういうふうな形にしてほしいと思いますし、このところ、今回の成果報告の中にも、漫画アニメの取り組みがありました。市報はですね。市の広報があれが載り出しから、私あれ最初に漫画見るんですよ。恐らく私だけじゃない。ほかの人もそういう方がおられるんじゃないかと思いますし、紙面がというか広報が柔らかくなった感じといいですか取りつきやすくなったような気がします。

ですから、そういうものをぜひさっきの全体の出と入りの報告もありましたけれども、随分入ってくるほうが多くてですね、もちろん出ていくものもあるけれども、多くの方に關心を持ってもらってるということが読み取れると思うんですよ。

だからそういうことをきちんと利用して最後に申しあげましたまちづくりに最終的に結びつくような感じでこの事業の運営をされたらすばらしいなというふうに思います。まあよろしくお願いをしたいと言うふうに思います。

で、あれですかね。一旦終わったほうがいいですかね。もう一件聞きたいんですけども。一旦終わりますでしょうか。

○委員長（猶野智和君）　そうですね。次にまた改めて。（発言する者あり）また改めて。岩本委員。

○委員（岩本明央君）　これは、歳入の固定資産税のほうに関係するかもしれませんが、最近企業さんやら一般家庭でのメガソーラーの発電機ですが、盛んに設置をされております。で、これはもちろん水力発電とか風力発電、地力発電等々自然を活用した発電で大変結構だとは思いますが。

それで、美祢市でこのメガソーラーのパネルには固定資産税がかかるかどうか、ということをお教えいただきたいと思っております。これは一点目でございます。

それであるの、いろいろそれに関わる関連もありますが、平成25年の1月29日の山口新聞にこのような美祢市にメガソーラー発電ということで大々的に新聞が載りました。これを見ますと、美東町の旧公共残土処理場の真長田、それから綾木に一部ありますが、それを活用した太陽光パネル発電、7,812枚を設置をされるということで去年既に工事が終わって……失礼。26年に工事が終わって、27年には既に発電が始まっておるように理解をしております。

まあこのようなことで、このメガソーラーの関係のパネルについての固定資産税はどのような形になっておりますか。それからまた、残土処理場をお使いになっておるウエストエネルギーソリューションというのが会社が広島市にありますが、これ前市長さんの村田さんが契約をしておられます。その辺の関係のことを御説明をお願いしたいと思います。

○委員長（猶野智和君）　細田総務部次長。

○総務部次長（細田清治君）　ただいまの御質問ですが、まず最初の固定資産税とソーラーの関係ですが、昨年もちよつと今の市長さんが議員の時にこの9月決算の時御質問されたと思っておりますけど、個人の住宅でも10kW以上の売電を目的とした施設は課税となります。そして、法人や個人事業者が購入する設備は売電用の有無に関わらず、事業用資産として課税の対象となります。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） ちょっとすみません。ここでいったん暫時休憩いたします。

午前10時47分休憩

.....  
午前11時05分再開

○委員長（猶野智和君） 休憩前に続き、委員会を開きます。さきほど冒頭で、私が竹岡委員はオブザーバーと申し上げましたが、竹岡委員は委員の立場で御出席されております。本日は、本会議は監査意見書を付した決算会議でございますので竹岡委員は監査委員でありますのでこちらのほう、質疑、意見を極力控えていただきますようお願い申し上げます。それではお願いします。佐伯監理課長。

○監理課長（佐伯憲一君） さきほどの岩本委員の御質問についてお答えしたいと思います。美東町にありました公共残土処理場でございますが、今はですね、株式会社ウエストエネルギーソリューションという会社と土地賃貸借契約を結んでおります。この契約の締結日が平成25年11月28日。賃貸借の面積が1万3,863.64㎡ということでこの貸付料は市のほうに年額99万8,182円財産運用収入として上がってきております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岩本委員。

○委員（岩本明央君） 関連質問でございますが、このメガソーラー発電の太陽光パネルのですね、1枚、いろいろ能力もそれから大きさ等も違いがあるかもしれませんが、固定資産税、市に入る固定資産税は1枚に対してどのくらい収入があるかというのが1件でございます。

それから、さきほど今御答弁いただいておりますが、固定資産税収入が16億3,000万円ぐらいあるんですが、このパネルが占める固定資産税の割合は何%ぐらいかなということを知りたいと思います。これは、あの別に後でもいいですからその2点は後でもよろしゅうございますのでよろしく願いいたします。

それからさきほど申し上げましたような今ウエストエネルギーソリューションを始め、前の東フレさん。萩にいったんあったんですが、その後のメガソーラーの関係の……とか例のあれですね。旧新美祢カントリークラブ。ゴルフ場ですね。あれはたしかもうゴルフ閉鎖されて会社のほうが——会社がこういう太陽光発電をされるとい

うふうなことで聞いておりました、一部社員の方は、残って管理をするってことも聞いておったんですが、なかなか工事が進まんとかちゅう話しもちらっと聞いております。私現場にいったいものであんまり言えないんですが、今のウエストエネルギーソリューションのほうは先般、月曜日の昼から常任委員会の後、見に行きましたけれど、なかなか広いなという感じがしております。そういうことで、せっかく企業の方が本気で大きい面積で発電してもらうような計画がありますので、その辺をおおいに確認していただくとともに、今の2点の質問に対して資料があれば提示をしていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 細田総務部次長。

○総務部次長（細田清治君） ただいまの岩本委員さんの質問にお答えしたいと思いますんですが、このパネルの件は、昨年も御質問がありまして、どの、いろいろメーカーがありますので、メーカーによって当然単価が違いますので固定資産税は購入価格によって償却を毎年して税額を出します。標準額としてですね。だからどのメーカーを使われるかで違うと思います。

そして税額の推移ですが、平成25年度は0でございます。平成26年度が12件の589万8,000円。平成27年度が30件の2,338万5,000円となっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） 2点お尋ねいたします。まず1点目は32ページの2なんですが、この満足度調査——満足度の調査を行いとありますが、これは以前に本庁舎、総合支所、また各出張所で行われていたアンケートかと思いますが、この集約は発表されているのでしょうか。報告があったのかどうかお尋ねいたします。

それと2点目はページ33なんですが、2番目の公共施設マネジメント推進事業とあります。この中で美東センター及び秋吉公民館の利用者との意見交換とありますが、どのようなことが話されたか、意見交換の内容を知りたいのですがお願いできますでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 大野総務部次長。

○総務部次長（大野義昭君） それでは、最初の1点目の市民満足度アンケート調査ですか。このことについてお答えいたします。このアンケート調査に関しましては平成26年度と平成27年度、2カ年に渡って行っております。で、集計等についての御質問ですけれど若干ちょっと簡単に集計の結果を申し上げますと、まず職員の対応については平成26年度と平成27年度を比較した場合は、大変良いが5%アップしております。また、平均的な得点も4.2ポイントから4.3ポイントと向上しております。まああの全体的にこういうふうに職員の接遇関係に関しましては、26年度よりも27年度の調査結果のほうが向上しているという結果になっております。で、主な分析等につきましては市のホームページで公表することにしております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 三好委員からの質問にお答えいたします。公共施設マネジメント推進事業における各施設との意見交換の内容についてという御質問だったと思います。美東センターにつきましては、11月28日土曜日9団体の10名の方に御参加いただきまして、私どもが業務委託しております山口大学並びに参加者は、少なかったんですけども、公共施設のあり方検討委員会のメンバーの方々に御出席をいただいて意見交換をしたという状況です。

また、秋芳公民館におきましては、12月5日土曜日、10団体10名の方に御参加いただいて同様の意見交換会を行ったという状況です。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） 意見交換会の内容が知りたいのですが、それは無理なんですか。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 意見交換会の内容につきましてもう少し詳しく申し上げますと、グループに、参加者のうちグループに分かれまして5人ぐらいのグループか4人ぐらいでグループに分かれまして各山口大学の方が中に入って現状の利用の状況、御希望とか課題とかそういったものをお聞きしております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） すみません。その話されたなかでどういう方向性とかあったんでしょうか。無かったんでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 三好委員の再質問にお答えいたします。その意見交換会の結果についてどのような方向性が見出されたかという御質問だったかと思えますけれども、これにつきましてはこの2回の意見交換会を通して、今後のつくっていかなくてはいけない公共施設管理計画等のほうに役立てていくということで具体的にその施設がどうするかそういう方向性のもものではございませんし、それを今取りまとめてお出しできるような状況ではございません。今後計画をつくる時の参考にさせていただいたという状況でございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 主要施策成果報告書の34ページでございますが、総務費の総務管理費の中の1で、美祢移住促進事業ということで移住プロモーション動画を製作し、総務省が開設したポータルサイト全国移住ナビに掲載するとともに各地で放映を行いましたということで、約500万円使ってらっしゃいますが、私のお聞きしたいのは、放映したのは各地ということはまずどこの場所かということと、それとこの費用対効果、もしくはアクセス回数等がお分かりになりましたらお教えいただきたいと思えます。

○委員長（猶野智和君） 佐々木企画政策課長。

○企画政策課長（佐々木昭治君） 戎屋委員の御質問にお答えいたします。美祢移住促進事業におきまして移住プロモーションビデオをどこで流したかという御質問だったと思いますが、私どもが行なったのはネクスコ西日本、美東サービスステーション上り、下り。山口宇部空港出発ロビー。福岡市の駅前の裏のビルの壁面を使ったオーロラビジョンというかそれを使っております。また、新山口駅、自由通路に同じように大きな画像を流すビジョンがありますのでそちらを使っております。また美祢市の成人式の会場、並びに美祢市のMYTの放送で流しております。

また、この費用対効果ですけれども、このプロモーション動画につきましては国の方から作るようにという指導があつて、私どもも全国基本的には皆作っておるような形で特別交付税で財源的には措置されると聞いております——なります。また、この

効果につきましてはさきほど申しましたように全国移住ナビにおいて掲載をしたんですが、ある一時期ですけれども、全国において5位に入りました。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 戒屋委員。

○委員（戒屋昭彦君） 回答ありがとうございます。やはり私もあのこういったことは大変いいことだと思いますので、やはりこの費用対効果と併せまして、やはり今後あのこういった見られた方でのアクセス、もしくはそのあたりでの問い合わせがあった時はなんか言うとかいろんな事をしていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。杉山委員。

○委員（杉山武志君） 私も今の関連になるんですが、33ページ、34ページに定住化に向けた取り組みがいろいろなされております。費用的に見ればこの2ページだけで2,000万円近くの企画がされておまして、定住化に向けた取り組みですので、大変よいと思うんですが、33ページの住宅団地管理販売事業。これなんかも新聞折り込みですとか、空き区画のでしょう。草刈りをされた、というふうにお話をさきほど伺っておりますが、やはりあの今住んでおられる方ですね、税金をもってこういう新聞折り込み等をされるんでしょうけど、何区画か販売されたものか、さきほどの戒屋委員さんのお話しではないですが、費用対効果。どういう効果が生まれているという辺がございませんでしたので、もし今わかれば教えていただけたらと思います。

○委員長（猶野智和君） 佐伯監理課長。

○監理課長（佐伯憲一君） 杉山委員の御質問にお答えしたいと思います。昨年度、平成27年度の販売実績でございますが、美祢住宅団地におきましては3区画と。秋芳町にあります且住宅団地につきましては、1区画。美祢市住宅団地につきましては計4区画販売をしておるわけでございます。

あの今の住宅団地管理販売事業の902万1,000円につきましては支出をしておりますけど、その4区画売れた販売収入の一部を充当してこの事業を起こしておりますところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） ありがとうございます。継続してこういった施策、企画をつくっていただいて定住化に向けて取り組んでいただけたらと思います。ありがとうございました。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それでは、主要成果報告書に基づいて質問します。36ページです。この1目の戸籍住民基本台帳。このところ、質問出るかなあとと思ってましたけど、ちょっと出ませんでしたので質問させていただきます。今回この予算として、個人番号カード管理業務ということで808万6,000円ついております。つきました。

それで、今回この見てとおり通知カード送付件数1万1,393件ということで、これ世帯。そして、個人番号カード交付件数が988件ということでこれ世帯じゃなくて基本的には個人と思いますけれども、この件数でいって8.7%の交付率ですよ。そして、今後個人にしたらもっとこれ低くなるんじゃないかと思っております。それで、今回予算しっかりかけておりますので今後この低すぎるなどと思っておりますので、その低かった原因とは何なのか簡潔に答えていただきたいと思っております。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） 岡山委員の御質問にお答えをいたします。個人番号カード交付件数988件につきましては、交付の開始が美祢市におきましては2月から始まったものでございます。したがって、2月、3月で988件の交付を行ったということになっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） よくわかりました。それです。ね、なかなかこの辺の今後交付件数というものが、まだまだ充分ではないかと思っております。それで、まだ進んでないところもたくさんあるのではないと思っておりますけれども、美祢市今後の予想として、今回の2カ月。2月、3月だけでしたけれども、今後の交付への推進といたしますか、その辺の見通しわかれば教えていただければと思います。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） 委員の再質問にお答えいたします。現在把握しておりますのは28年の8月末現在、交付件数なんですけれども、1,859人の方に交付をし

ております。交付と言いますのは、カードのほうお手元に受け取られた方ということでございまして、現在の状況で2, 238人の方が国の機関、ジェーリスと申しますけれども、その国の機関の方に申し込んでいらっしゃる方がいらっしゃいます。

こちらのほうで把握しておりますところですが、8月末、今年の8月末現在の数値でございますけれども、未成年者の方——1, 859人ほどカードを交付しておりますうちの未成年者の方が70人程度。それから、60歳から79歳までの方、1, 000人程度いらっしゃいます。

構成については以上でございますが、今後どのようにしてこれを推進していくかということでございますが、カードの推進につきましては、国のほうが推進するようということを取り組みを進めているところではございますが、これから金融機関の口座のときの本人確認の状況ですとかそういったところでいろいろと、推進が進めていける場面が繰り広げられていくのではないかというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） ありがとうございます。いずれにしても、現在のところカードの受け取りの方が2, 238人ということでまだまだこの3割も満たない。2割程度、まだまだ低い状況が続いておるということであります。

それですね、今後しっかりと行政サービスを簡易にやっていただくと同時に皆さんは、いろいろなセキュリティーの問題とか非常に心配されておられます。その辺を払拭するためにあたってはですね、例えばさきほど安富委員が言われましたけれども、美祿の広報、こういったところで漫画をね、私今回も最初みたのは漫画だけなんです。メイン。今回も地域福祉のことが漫画で描いてました。それで目に——妊婦さんが出産して、病院、美祿市の病院にいかんにゃあいけん。そういったタクシー代が無料になります。漫画で非常に分かりやすく書いておりました。非常にわかりやすかった。だから今後ですね、このなんていいますか個人番号カードに関しましては、しっかりそういう漫画でそういった問題点を払拭するような形でしっかりと説明していただければ私は非常に皆さんが分かりやすくなって、またそういったカードをですね、交付する件数がふえてくるのではないかと思っております。

今いろいろと 아이폰とかで指紋認証とかいうのを簡単にパッと打てば簡単に開けるわけですね。他の人がやったって開けない。そういう形で今後そういった、しっ

かりと広報の漫画の部分でしっかりと分かりやすく入れていただきたい。これは要望ということでありまして、交付のカードについては、あれですか。指紋の認証とか、これはどうやったのですかいいね。ちょっと確認で教えてください。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） 個人番号カードにつきまして指紋認証ができるかということでしょうか。これはパスワードですね。パスワード認証ということになっております。御本人さんが交付をするときにそれぞれ確定をしておられるパスワードで認証を行うということになっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） わかりました。そういった面で私の娘も指紋認証でこのカードをしっかりと取りあえず今回使うことができました。そういう面では非常によかったなと思っておりますので、そういった面に今後ともしっかりと市の広報など使ってですね。漫画で分かりやすくより一層していただければよろしいかなと思っておりますのでよろしくお願いします。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。安富委員。

○委員（安富法明君） 起債について、お伺いをします。成果報告書の19ページにさきほどもちょっと触れられましたが、起債の総額。まあ普通会計といいますか、一般会計の起債についての総額が記されております。総額183億3,600万ぐらい。美祢市の財政規模にほぼ匹敵っていいですか少し超えますか。くらいになっておるわけですが、起債につきましてはですね、この額が多いか少ないかっていうことはなかなか将来的な部分が多分に関係しますから議論は難しいとは思いますが、財源の調達なり、世代間の公正性とかを考えるとですね。こういった制度も大切なことだろうと思っておるわけですが、問題はこれの中によく我々も議論するんですが、交付税算入。要するに基準財政需要額に元利償還金が算入できる過疎債ですとか、100%算入できるような財源、臨時財源対策債ですか。このようなものから何種類かあるわけですが、これについてどれくらいのものが現在この中にあるかということですね。以前もちょっと資料を出してもらった記憶があるんですが、お知らせができたらというふうに思います。できればですね、ほんとは資料が資料として、ここについては例えば

70%の交付税算入があるよとかそういうふうな感じのものをお持ちだろうというふうには思うんですが、いかがでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） ただいまの安富委員に対しての御質問の回答になりますが、まず公債費につきましては、委員もおっしゃったとおりに金額がどのというのはあれで交付税算入等で良質な起債かどうかというところが確かに重要になると思っております。実質公債費比率につきましてもそういった面からいうと基準内を現状下回っておりますし、そのところ、数値が悪くならないようそういった指標をよく見て、あの起債のほうには当たろうと思っております。

御質問の内容につきましてですが、ただいま、こちら資料にありますとおり未償還額が183億ちょっとありますが現状では交付税算入の見込みがあるものがそのうち6割から8割ぐらいについては交付税算入されるものの起債の状況になっております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 安富委員。

○委員（安富法明君） できれば、資料を出していただけないかと申し上げたと思うんですが、委員長のほうで配慮できますでしょうか。

○委員長（猶野智和君） では、委員長のほうから資料の請求をいたしますのでよろしくお願いいたします。ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） それでは、質疑なしと認め、質疑を終わります。この際、説明員交代のため暫時休憩いたします。

午前11時35分休憩

.....

午後0時57分再開

○委員長（猶野智和君） 休憩前に続き委員会を開きます。次に、民生費を議題といたします。執行部より説明を求めます。福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） それでは、3款民生費について御説明をいたします。主要施策成果報告書37ページをお開きください。

1項社会福祉費・1目社会福祉総務費であります。1地域福祉推進事業として、6,736万6,000円を支出しております。これは、更生保護女性会、社会福祉

協議会など地域社会に貢献される7団体に対しまして負担金・補助金を支給し、地域福祉活動の推進を図るものでございます。

次に、3臨時福祉給付金支給事業として、5,206万8,000円を支出しております。これは、平成26年4月に消費税が8%に引き上げられたことに伴い、低所得者及び子育て世帯への影響を緩和するため、給付金支給事業を実施したものであります。

続きまして、2目障害者福祉費であります。3自立支援医療給付費等事業として、6億3,385万3,000円を支出しております。これは、身体障害者に対する人工透析治療等への更生医療費、及び身体に障害のある児童に対し、障害除去・軽減するための育成医療に対する医療費の公費扶助であります。

次に、4地域生活支援事業として、1,819万1,000円を支出しております。これは、地域活動支援センターひので及びあじさいの指定管理委託料や障害者、障害児が在宅で生活するために必要な歩行支援用具等、日常生活用具を給付する事業であります。なお、地域活動支援センターあじさいにつきましては、平成27年9月30日をもって廃止としておるところでございます。

次に、38ページをお開きください。

5特別障害者手当等給付事業として、808万7,000円を支出しております。これは、特別障害者手当、障害児福祉手当の給付事業を実施したものであります。

ここまでで、額の大きい不用額につきまして御説明をいたします。決算書56、57ページをお開きください。

1目社会福祉総務費・19節負担金補助及び交付金で、908万4,294円の不用額が生じております。これは、主に臨時福祉給付金等の給付対象者の減でございまして、予算時には国の指針が明確でなかったことから、最大限に見込んだものでございます。

次に、20節扶助費でございます。145万5,370円の不用額が生じておりますが、主には生活困窮者自立支援事業の住宅確保給付金や行旅病人扶助の実績の減によるものでございます。

次に、2目障害者福祉費・13節委託料で203万1,571円の不用額が生じております。これは、地域生活支援事業のうち、訪問入浴サービス事業の実績がなかったことなどの減でございます。

次に、20節扶助費で1,179万231円の不用額が生じております。これは、主に自立支援医療給付費等事業の各種事業のうち、介護訓練等給付事業で利用見込み件数に達しなかったものでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 河村高齢福祉課長。

○高齢福祉課長（河村充展君） 続きまして、3目老人福祉費について御説明いたします。

まず、1緊急通報体制等整備事業につきましては、在宅の日常生活上注意を要する高齢者世帯の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るための緊急通報装置を設置する事業であります。

センター方式と転送方式、合わせて140台を設置し、支出額は委託料などで、合計366万1,000円、利用者からの負担金収入は、198万1,000円となっております。

次に、2老人保護措置事業につきましては、共楽荘や、山口市の秋楽園など養護老人ホームへの措置に係る経費であり、支出額は700万1,000円、入所者等の負担金収入は1,267万5,000円となっております。

次に、3敬老祝金支給事業につきましては、満80歳の方、満88歳の方等、節目の年齢を迎えられた高齢者に祝金を支給する事業であり、759の方に総額で1,457万円を支給しております。

次のページになります。4敬老会行事開催事業につきましては、市内8つの地区で敬老会が開催され、合計で987人の参加があり、これに要した経費は総額824万7,000円となっております。

次に、8ねんりんピック交流大会開催事業ですが、ここで一部修正をお願いしたいと思います。記載されております事業名に、準備という文字が記載されたままとなっております。正しくは、ねんりんピック交流大会開催事業となります。大変申し訳ございません。準備の文字を消していただければと思います。このねんりんピック交流大会開催事業では、309万6,000円を支出しており、このうち美祢市実行委員会に対する補助金は236万2,000円となっております。

次に、9介護保険事業特別会計への繰出金として総額4億8,259万9,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 続きまして、40ページになります。4目福祉医療助成事業費であります。

1 重度心身障害者医療助成事業費として、2億298万6,000円を支出しております。これは、重度の心身障害者が安心して医療を受けていただくことを目的とした事業で、医療保険の自己負担分を助成しており、該当される方の医療機関窓口における医療費の支払いはございません。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 河村高齢福祉課長。

○高齢福祉課長（河村充展君） 続きまして、5目共楽荘費について御説明いたします。

養護老人ホーム共楽荘の運営経費として、9,045万6,000円を支出しており、平成27年度末の入所者数は26人となっております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） 6目国民年金費でございます。

市では申請書の受付業務などを行っております。美祢市の国民年金被保険者数は平成28年3月末現在で、3,585人となっております。

次に、平成27年度国民年金システム改修業務として64万8,000円を支出しております。これは、免除申請書等の様式変更及び納付猶予の適用年齢の変更等に対応するための関連システムの改修委託料でございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 次に、7目人権対策費であります。

1 人権対策事業として、35万2,000円を支出しております。これは、研修等の参加経費であります。ここで修正をお願いいたします。41ページになります。

2 同和福祉援護資金貸付とございますが、これは1人権対策事業の内訳であります。従いまして、同和福祉援護資金貸付の2を削除していただきまして、その下にございます3人権啓発推進事業の3を2に修正していただきますようよろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 河村高齢福祉課長。

○高齢福祉課長（河村充展君） 続きまして、8目老人福祉施設費について御説明いたします。

1カルストの湯管理経費につきましては、浴場の使用者数は延べ1万4,916人、管理経費につきましては683万6,000円、使用料等の収入は323万1,000円となっております。

次に、2秋楽園組合運営事業ですが、こちらの施設は山口市との一部事務組合で運営しております養護老人ホームであり、管理運営に係る経費の分担金として、722万6,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 鮎川市民課長。

○市民課長（鮎川弘子君） 9目国民健康保険費でございます。

国民健康保険事業特別会計繰出金として、2億8,448万5,000円を支出しております。詳細につきましてはごらんのとおりでございます。

次に、10目後期高齢者医療費として6億756万6,000円を支出しております。このうち、後期高齢者医療費繰出金として、後期高齢者医療事業の特別会計に1億3,085万6,000円を支出しております。

その内訳は、事務費等繰出金と保険税の軽減と保険者を支援する保険基盤安定繰出金でございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 続きまして、2項児童福祉費・1目児童福祉総務費であります。

1多子世帯等保育料軽減事業でございます。これは、子育て環境整備のうち経済的負担軽減策の一環としまして、平成27年4月から所得制限を設けることなく、第2子の保育料を一律半額とし、また第3子以降の保育料については無料とするなど、国・県の制度を上回る県内トップクラスの保育料軽減制度を市単独でスタートさせたものでございます。負担軽減に伴う市の負担額は4,707万円となっております。

次に、42ページをお開きください。

2 すすく美祢子育て応援事業として、537万9,000円を支出しております。これは、翌年度繰越のうえ、平成28年4月に開設しました、子育て応援サイトつぼみねっと作成に係るホームページ業務委託料であります。

つぼみねっとにつきましては、本市の子育てに関する情報発信を積極的に行い、内容も充実したものとなっております。開設以来5,100人を超える利用者があり、今後もぜひ、多くの方に活用していただければと考えております。

その他、安心して子どもを産み育てることができる環境整備のためにすこやか子育て基金への積み立てを行っております。

次に、3児童クラブ運営事業として4,281万9,000円を支出しております。児童クラブは平成27年度に2カ所ふえまして、これは綾木総合支援学校内、2カ所がふえております。それで全域が12カ所の設置をしておりますが、このうち嘉万児童館に併設しております嘉万児童クラブを除く11クラブの運営費が主なものでございます。

次に、デイケア推進事業として、580万9,000円を支出しております。これは、デイケアセンターコアハウス運営事業の委託料であります。

続きまして、2目児童措置費であります。2私立保育園運営委託事業として、2億4,083万5,000円を支出しております。これは、私立保育園4園への保育委託料であり、入所児童は210人でございます。

次に、43ページをお開きください。3認定こども園補助事業として、1億6,494万7,000円を支出しております。これは、子ども・子育て新制度に伴う認定こども園2園に対する、施設型給付費でありまして、入所児童は217人でございます。

次に、4児童手当支給事業として2億9,894万円を支出しております。これは、中学校終了前までの児童を養育されている方に対して支給する事業であり、延べ2万6,789人の児童に対し支給をしております。

続きまして、3目母子福祉費であります。1児童扶養手当給付事業として、7,780万5,000円を支出しており、受給者は175人、延べ2,041人の給付をしております。

続きまして、4目児童福祉施設費であります。1公立保育園運営事業として、1億4,410万2,000円を支出しております。これは、市内公立保育園10園の運営に関する経費であり、入所状況等は表のとおりであります。

ここで2項児童福祉費において、額の大きい不用額の御説明をいたします。決算書62、63ページをお開きください。

1目児童福祉総務費・13節委託料で、525万1,359円の不用額が生じております。これは、児童クラブ運営事業におきまして、利用児童数が見込より少なかったことや子育て応援サイトつぼみねっと作成委託料の減によるものでございます。また、さきの3月定例会において、多子世帯等保育料に関する法改正に伴うシステム改修業務委託料の補正を行っております。この委託料につきまして年度内実施が困難となりまして、さらに繰越手続きについても間に合わなかったことから156万6,000円が不用額として上がっております。

なお、この件につきましては12月定例会において、補正を提出したいと考えておるところでございます。

次に、19節負担金補助及び交付金で、186万5,040円の不用額が生じております。これは、主に延長保育事業において、私立保育園1園について、当初1時間の延長保育を予定しておりましたが、希望により30分の延長保育となり、そのため、国の補助要件に該当しなかったものでございます。

次に、2目児童措置費・13節委託料で、348万3,200円の不用額が生じております。これは、私立保育園保育委託事業において、施設型給付費、これは運営委託料ですが、国の制度改正に伴う影響見込みが困難であったための差でございます。

次に、決算書は64、65ページをお開きください。3目母子福祉費・20節扶助費で、127万8,290円の不用額が生じております。これは、主に高度技能訓練促進費等事業、これは県制度ですけど、この受給者がなかったものでございます。

次に、4目児童福祉施設費・7節賃金で2,134万6,316円の不用額が生じております。これは、公立保育園指定管理豊田前保育園を除く、9園の臨時・パート保育士に係るもので、設置基準の人数は満たしておりますが、より充実した保育サービスを提供するための人材確保が困難であったためのものでございます。

それでは、成果報告書に戻りまして、44ページをお開きください。3項生活保護費・1目生活保護総務費であります。1生活保護事業として、549万7,000円

を支出しております。これは、嘱託医2名の報酬及び生活保護システムの保守料等でございます。

次に、2目扶助費であります。1生活保護扶助事業として、3億3,919万6,000円を支出しております。これは、生活保護の被保護世帯に対する生活扶助等、各種扶助にかかるものであり、142世帯が対象となっております。

続きまして、4項災害救助費・1目災害救助費でございます。1災害救助事業として、40万5,000円を支出しております。これは、災害援護資金利子補給金1件と昨年9月議会にて御議決いただきました、被災者生活再建支援扶助に対しまして、床上浸水1件に対する支援金を交付したものでございます。

以上、民生費の説明を終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねいたします。成果報告書の37なんですけど、この臨時福祉給付金支援事業ですが、これはあの申請主義だと思いますけど、申請していない人が分かると思いますけれど、その対応はどうなっているのかということと、それから39ページの5目の生きがい活動支援通所事業の件ですけれど、これは1人当たり、事業所に対して1人当たりの報酬が少ないように聞いておりますが、それで受け皿となるサービス業者がなかなか確保されないのではないかと思います。また今回の介護保険の――27年の見直しがありまして、要支援が1、2が認定にならない人も多くいらっしゃるのではないかと思います。そういうところから見て今のこの事業というのは重要な役目を果たすと考えられますが、これについて今後どのようにお考えなのか、受け皿として業者が十分確保されていたのかどうかお尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 三好委員の御質問に回答いたします。臨時福祉給付金の受給に対して、これは申請主義でございます。で、これは最初に該当者につきましては通知をしておりますが、その後については個人的には通知はしておりません。ただ、市報またはホームページ等で、またはMYTとかですね。そういったもので周知を徹底しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 河村高齢福祉課長。

○高齢福祉課長（河村充展君） ただいまの三好委員の生きがい活動支援通所事業の件についてお答えいたしたいと思います。この事業につきましては、1人当たりの委託料として事業所にですね、1回につき4,000円のお支払いをしているところがございます。

今の三好委員のお話しによりますと、事業所への委託確保が困難ではないか、受け皿があったのかというような御質問いただきましたけれどもこの受け皿となりますところはですね、いわゆる一般の通所事業、デイサービスをされている事業所に対しまして、委託を行っているところがございます。利用者のほうから事業所、ここを利用したいというお話しがあった段階で委託契約を結び利用していただくという流れをとっております。

今後についてでございますけれども、新たな総合事業が始まりますと、事業として重複するサービスとなってしまうということから今現在の方針といたしましては、この生きがい活動支援通所事業につきましては今年度いっぱい打ち切りという形をとらせていただきたいという考えでおるところでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。よろしいですか。ほかにございませんか。杉山委員。

○委員（杉山武志君） 65ページになるんですが、ちょっとお尋ねしたい。さきほど、人材が確保できなかったというお話しを福田さんのほうからあったんですが、これはあの7節の賃金のところでよろしかったですかね。

○委員長（猶野智和君） 決算書のほう。（発言するものあり）福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） これは、さきほど御説明いたしました。公立保育園の9園に対しての臨時保育士、そしてパート保育士のことでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） ほかの項目っていったら失礼なんですけど、ただお金が不用額が出たということであながち喜べるのではなくてですね、園児何人に保育士何人とかですね。あろうと思いますし、手薄になれば、けがですとか事故の発生ということにもつながってくる問題につながってこようと思います。

不用額がただ単に出たというのではなく、その人材確保ですね、これに努めてい

ただいて園児が安全に過ごせるように、過ごしていただけるというのが目的だと思いますので、その点留意して、次年度以降ですね、行っていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねいたします。成果報告書の44ページの2目の扶助費。生活保護扶助事業なんですけれど、説明の中では142世帯とありましたが、増減は述べられなかったように思いましたが、これってふえたんですか、減ったんでしょうか。

それから生活保護の中身、中身というか内容というか扶助の内容が以前と変わったのではないかと思います。それについてもお尋ねいたします。変わったこの種別がありますが、変わったところがありましたらお願いいたします。

委員長、レベルでいいです。レベルで。変化、変化というか。お願いいたします。

○委員長（猶野智和君） 三浦市民福祉部長。

○市民福祉部長（三浦洋介君） 三好委員の御質問にお答えいたします。生活扶助費におきましては、昨年度が3億15万6,000円ということで本年度3億3,919万6,000円ということで約3,900万程度増加しております。主な理由につきましては種別の中の医療扶助、ここで2億756万4,000円ということで昨年がですね、1億7,352万9,000円ということで、これが約3,000万近く上がっておりますので主な理由としては医療扶助が昨年度比べて約3,000万近く上がったということで（発言する者あり）そうです。

以上でございます。

種別につきましては、昨年度と変更ございませんので。はい。で世帯は42世帯ということですが、昨年40,141世帯ということで数字的には1世帯の増加のみでございますけれども、医療扶助というのは高額になりますのでその分高額な増になったということでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかにございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それではですね、主要施策成果報告書の43ページです。4目の児童福祉施設費ということで公立保育園。この事業費が1億4,410万2,

000円と付いております。それです、平成26年度に比べて、公立保育園の人数が20名——256から236ということで20名減少しております。

それで、今回の運営事業費というのは一昨年比べて人数も減ったということで今回の1億4,410万2,000円というのは前年より減ってきたのかどうかこの辺についてお尋ねしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。児童数につきましては、今御説明のありましたとおり、減っておるところでございます。ただ、事業費につきましては、修繕費等がかなり大幅に増ということになっております。ただ、なるべく優先することのみをして、全部をしてしまうとかなりの事業費がかかりますので、なるべく毎年同じ大体同じくらいの予算の中で納めるように努めているところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 分かりました。今後あの公立保育園もしっかりと運営維持にあたってはいろんな声があつて維持していただきたいという声がたくさんあります。

それです、今後この1年間見てもこの保育園の入園者が20人も減ったということで今後さらに、こういった人数が人口減少に伴いまして減ってくると。そうすると、今度民間の認定子ども園などのこういった幼稚園なんかがしっかりと預かってきますから営業活動もそっちできますので、もし向こうは向こうでまた一生懸命、そりゃ当然営業活動されますので、人数少ないなかでしっかりと取り合いになります。そうとなかなかこの保育園を維持していく。またこういった対応っていうのは難しくなっていくと思います。

今後はそういった面においてはですね。運営、事業の予算についてしっかりと確保して、まあなんて言いますか、現状を維持してしっかりとしていただきたいと同時に、しっかりと皆さんの意向をですね、今後ともよく聞き入れて対応していただきたい。これは要望です。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。末永委員。

○委員（末永義美君） 成果報告書の37ページをお願いします。

地域福祉推進事業についてです。この7つの団体というのは7つの団体名を公表できますでしょうか。

そして、各団体に振り分けられている詳細な金銭、金額等もお示しを願えますでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 末永委員の御質問にお答えをいたします。

まず、7つの団体でございます。まず、県更正保護協会でございます。これは、助成額は2万2,000円でございます。続きまして、美祢市地区保護司会でございます。この助成は24万5,000円でございます。続きまして、美祢市更正保護女性会でございます。これは、6万6,000円でございます。続きまして、秋芳美東更正保護女性会でございます。これは、5万6,000円でございます。続きまして遺族会、美祢市連合遺族会ですけど、これにつきましては82万6,400円でございます。続きまして、美祢市社会福祉協議会でございます。6,521万6,306円でございます。そして、民生——美祢市民生委員児童委員協議会でございます。これは、少々お待ちくださいませ。お待たせいたしました。63万4,000円でございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 末永委員。

○委員（末永義美君） ありがとうございます。その他7団体以外にも、数年その他の団体の申請っていうのがあるのかということでもしあるならば大体どれくらいの規模でいつも申請応募があるのか。なければ、定例でこの団体さんなのかを教えてください。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） ただいまの御質問にお答えをいたします。新たに申請を受けるといふところは、今実施しておらないところがございます。逆にここ数年において助成額というものをどんどん削減をさせていただいているような状況でございます。

こちらとしましては、地域福祉活動に貢献のある事業団体として優先をして助成をしておるところでございます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に、衛生費を議題といたします。執行部より説明を求めます。池田生活環境課長。

○生活環境課長（池田正義君） それでは、成果報告書の45ページをお開きください。

4款衛生費・1項保健衛生費・1目保健衛生総務費でございます。1番目として飲料水水源確保事業でございます。これは、水道水の未給水地区における飲料水水源確保のためのボーリング調査費に対する補助金でございます。27年度は5世帯、個人の方に143万5,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 内藤健康増進課長。

○健康増進課長（内藤賢治君） 次に、2看護師奨学金給付事業でございます。

これは、看護師の養成・確保並びに本市の地域医療の維持のため、美祢市看護師奨学金貸付条例により、該当者7名への貸付420万円を支出しております。

次に、3緊急医療体制整備事業で1,147万4,000円を支出しております。この内容といたしまして、まず1として一次救急医療委託料で、日曜、休日の当番業務を美祢市医師会、美祢郡医師会に委託し実施しております。

次に、二次救急医療事業負担金として輪番制で行っている二次救急医療につきまして、宇部小野田地域と山口地域の2つの協議会へ運営負担金を支出しております。

次に、2目予防費でございます。1健康づくり推進事業で262万5,000円を支出しております。

これは、美祢市健康づくり推進協議会や健康増進計画策定部会等を開催し、委員の意見等を反映し、第2次美祢市健康増進計画を策定いたしました。

次に2予防接種事業で7,618万6,000円を支出しております。これは、主に医療機関での個別接種により予防接種を行ったもので、計9,984人の接種を行っております。

次に、3がん診事業でございます。がん検診事業として4,459万3,000円を支出しております。これは、各地域での集団検診及び医療機関で各種がん検診を実施し、計9,384名への検診委託料として支出したものが主なものでございます。

次に、4がん検診推進事業でございます。がん検診推進事業として、199万円を支出しております。これは、がん検診の受診促進のため、子宮がん、乳がん、大腸が

んについて、一定の年齢に達した者に無料クーポン券を交付し、さらに、これらの対象者のうち、未受診者に再勧奨を行い、計341名に健診を実施し、主に検診委託料として支出したものでございます。

次に主要施策成果報告書の46ページをお開きください。3目母子衛生費・1妊婦健康診査事業でございます。これは、妊婦の健康保持増進のため、妊婦に対する健康診査を実施し、1,144万7,000円を支出しております。

次に、2乳児健康診査事業でございます。これは、健康な乳児の育成を図るため、1カ月児・3カ月児・7カ月児を対象に健康診査を実施し、195万4,000円を支出しております。

次に、3幼児健康診査事業でございます。これは、1歳6カ月児及び3歳児を対象に健康診査を実施し、226万4,000円を支出しております。

次に、4育児等健康支援事業でございます。これは、保健師や母子保健推進員による乳児宅訪問・育児学級・育児相談等を開催し、母子への支援事業を実施したもので、191万8,000円を支出しております。

なお、ここで額の多い不用額について御説明をさせていただきます。

美祢市会計歳入歳出決算書の68、69ページをお開きください。2目予防費・13委託料に670万3,856円の不用額が生じております。これは主に予防接種委託料におきまして、高齢者のインフルエンザ及び高齢者肺炎球菌の接種者数が予想を下回ったことが主なものでございます。

次に70、71ページをお開きください。3目母子衛生費・13委託料に235万2,420円の不用額が生じております。これは、主に妊婦健診委託料及び乳児健診委託料において、健診見込み者が予想を下回ったことが主なものでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 池田生活環境課長。

○生活環境課長（池田正義君） それでは、4目環境衛生費でございます。

環境衛生費の主なものは地球温暖化対策推進事業でございます。

そのうち（1）の電気自動車充電設備管理運営事業におきましては、平成26年7月より道の駅おふく、道の駅みとう、秋芳洞第1駐車場の3カ所において一般向けの電気自動車用の急速充電器を稼働しておりますが、これらの管理運営費として203万5,000円を支出しております。

その下の5目斎場費でございます。(1)の美祢斎場運営事業費につきましては、指定管理委託料を含む管理運営費として2,112万5,000円、47ページのほうに移りまして、(2)の船窪山斎場運営費でございますが、こちらは777万5,000円ほど支出しております。

続きまして、6目環境保全費でございます。大気等測定事業でございます、(1)の大気測定事業では、市内27カ所で毎月採取する雨水やばいじんを分析して異常が無いことを確認しておりますが、雨水、ばいじんの分析の費用としまして362万2,000円を支出しております。

次に(2)麦川坑内水臭気対策事業では、山口大学工学部に調査、研究を委託しているもので、委託料として55万円を支出しております。

次に(3)自動車騒音常時監視評価事業につきましては、平成27年度は県道小郡三隅線における評価の委託料として37万8,000円を支出しております。

以上です。

○委員長(猶野智和君) 内藤健康増進課長。

○健康増進課長(内藤賢治君) 次に、7目保健センター費でございます。

これは、市内3カ所の保健センターの維持管理費として733万3,000円を支出したものでございます。

以上でございます。

○委員長(猶野智和君) 池田生活環境課長。

○生活環境課長(池田正義君) 続きまして、2項清掃費・1目清掃総務費でございます。主な事業は合併浄化槽の設置整備に対する補助金の支出でありまして、27年度の補助対象数は43件、補助金の支出枠といたしましては1,616万2,000円で行いました。

次に、2目塵芥処理費でございます。はじめに廃棄物リサイクル推進事業でございますが、(1)のごみ収集袋の作成には1,538万6,000円、次ページ、48ページに移りまして、(2)の家庭ごみ収集運搬には収集委託料として9,173万6,000円を支出しております。

次に、収集した可燃系ごみを固形燃料化する施設であります、カルストクリーンセンターの管理運営事業費としましては1億3,130万4,000円となっております。

次に、3目し尿処理費でございます。美祢市のし尿の処理施設である衛生センター管理運営経費としまして5,840万7,000円を支出しております。

次に、3項水道費・1目水道施設費でございます。こちらは、水道事業会計への繰出金でございます。2億3,261万8,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 内藤健康増進課長。

○健康増進課長（内藤賢治君） 次に、4項病院費・1目病院事業費でございます。

病院等事業会計繰出金として8億4,951万2,000円を支出しております。

以上で衛生費の説明を終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねします。決算書の69ページですけれど、この委託料——13番の委託料ですけれど、さきほどの説明では、600ほど不用額が出ていると。これは、高齢者の接種が減ったということでしたが、この——これはですね、75歳、後期高齢者の方は予防接種をしなくてもいいよとかいうようなことが影響して、そういった国——厚労省の通達というか内容なんですけれど——が影響しているのかなと思うのですがこういった影響があったのでしょうか。どうでしょうか。75歳以上の方の健康が問題だと思うんですがこの点についてお尋ねします。

それとですね、もう1件。健康づくりなんですけれど、成果報告書の45ページ。健康づくり推進事業の中でいつも思うんですが、国保とか高い。医療費がいるっというので誰も健康でなくてはならないと思うんですが、この健康づくりがいろいろたくさん、美祢市ではメニューがたくさんありまして、健康づくりに十分力を入れておられますので本当にいいことだと思いますが、ちょっとそこで問題。どうかなと思うのがほんとに健康な人がふえたのかなという成果が知りたいんですけれどわかれば教えていただきたいと。

それから、もう1点ですが、病気になった時、というか病名。病気の多い、ベストスリー、ベストファイブ。ベストファイブと分かる順番、順番から分かる病気から分かる範囲でいいんですが病名について教えていただきたいと思います。この3点をよろしく願いいたします。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。その成果というのは具体的にどういう数字が。

三好委員。

○委員（三好睦子君） どのくらいの方が健康になられたのかなあと……

○委員長（猶野智和君） 健康……（発言する者あり）資料を出すにもちょっと出しづら  
い表現なので。何かもっと具体的にこれの資料を出してほしいとか、数字を出して  
ほしいとか具体的に言っていたかかないと。三好委員。

○委員（三好睦子君） ほんと病院に行ってる——どういうんですか、成果というか。  
健康な人がふえたと。やはり分からないでしょうかね——と思うんですが。こんな健  
康推進事業やったのでこんなに健康になった。あまり病院に行かなくなったとかいう  
のが分かるのかなあとと思うことと、それから病名で一番がんが多いとか色々あると思  
いますが、そういうのも知りたいなあとと思ったんですが、医療費が高いということも  
ちょっと気になっておりますので、どういう病気が多いのかなと。それに対して、や  
はり健康増進のことについて医療費を抑えるためには健康づくりが大事だと思いまし  
て、病気が多い順、ていうか病気に対して健康づくりが必要ではないかと思いまして  
質問しました。

○委員長（猶野智和君） 外来の数が減ったとかそういうのでいいですか。篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 三好委員の御質問にお答えいたします。さきほどの成果指標  
のことでございます。指標的には総合計画の目標指標というのがございますので将来  
的にはこういう事業を継続した結果、どういう指標が出たかというのはまたその総合  
計画の実施状況等でお示しできるんじゃないかと思っております。

次の疾病統計。いわゆる疾病統計だと思います。これにつきましては資料がありま  
すので、また後日でも配付させていただきたいと思っております。疾病統計については公表  
資料が……公表資料でございますので、お示ししたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 内藤健康増進課長。

○健康増進課長（内藤賢治君） それからもう1点の御質問。あの高齢者肺炎球菌の関  
係ですけれども、一応、対応者の方につきましては全部はがきで通知、御案内をして  
おります。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。秋枝委員。

○委員（秋枝秀稔君） ちょっとお尋ねいたしますが、環境衛生で、充電——自動車の

充電の関係なんですけれど、203万5,000円ほど出ておりますが、これというのはあれですか。充電回数、ちょっと今計算いたしましたら、1回あたり1,400円ぐらい、充電1回あたりかかっておるんですけれど、これは固定的なものですか。それとも回数がふえればふえるほど、これは経費がまたかかるんですか。そういう、ちょっと分からんもので。お尋ねです。

○委員長（猶野智和君） 池田生活環境課長。

○生活環境課長（池田正義君） 秋枝委員の御質問にお答えいたします。この230万円の内訳に関しては、施設の管理の運営に関するものなど——済みません。ものなどですね。委託料などというふうになっております。御本人からの電気代というのは、ちょっと定かではなかったんですが、たしか何か会員登録をされてこの充電に関する費用を本人が今すぐにもその場でお支払われると仕組みではなかったと思います。この230万に関しては施設の保守点検などの費用というふうに考えていただければというふうに思います。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 秋枝委員。

○委員（秋枝秀稔君） 203万5,000円というのは3カ所の維持管理費ということですね。

○委員長（猶野智和君） 池田生活環境課長。

○生活環境課長（池田正義君） そのとおりです。3カ所の維持管理費ということになります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。この際、説明員交代のため、暫時休憩をいたします。

午後1時52分休憩

.....

午後2時09分再開

○委員長（猶野智和君） 休憩前に続き委員会を開きます。

次に、労働費を議題といたします。執行部より説明を求めます。白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） それでは、労働費について御説明を申し上げます。

歳入歳出決算書につきましては、76ページから、成果報告書につきましては成果報告書49ページからでございます。

それでは、まず成果報告書の49ページをごらんいただきたらと思います。5款労働費・1項労働諸費・1目労働諸費についての御説明でございますけれど、1と2を飛ばしていただきまして、3人財・企業育成活性化事業におきまして481万7,000円を支出いたしております。

事業の内容につきましては、市内雇用の拡大と企業が求める人材の育成・確保を目的に、職業相談事業や人材育成講座開設事業等の実施により、求職者等への支援を図るものでございます。

なお、平成27年度におきます就職相談室の利用者は、延べで1,045人、セミナーについては、10講座を開催いたしまして、107名の参加をいただいております。

続きまして、1つ飛ばして、1番下の3目農村勤労福祉センター費ですけれど、これは、大嶺町北分に設置されております施設で、管理運営事業として173万3,000円を支出いたしております。利用件数につきましては115件、利用者数は1,803人でございます。

続いて50ページ、1番上でございますけれど、4目勤労者福祉施設費、勤労者福祉施設管理運営事業におきまして、指定管理料等を2,061万9,000円を支出いたしております。

これは、美祢市勤労福祉会館と美祢勤労者総合福祉センター、サンワーク美祢の維持管理に係るもので利用状況につきましては、勤労福祉会館では1,186件の1万748人、サンワーク美祢では2,342件の3万6,867人でございます。

次に、労働費に関わります、不要額の100万円を超えるものについて御説明いたしたいと思います。恐れ入りますが、歳入歳出決算書の78、79ページをごらんいただきたらと思います。

79ページのほうでございますけれど、上から2番目、1項・1目労働諸費・21節貸付金におきまして不用額411万9,000円を計上いたしてございます。

これは、中小企業者小口融資制度に係る預託金でございまして、実績に基づいたものでございます。

次に、下から4番目、4目勤労者福祉施設費・13節委託料におきまして179万7,800円の不用額を計上いたしております。

これは、勤労福祉センターとサンワーク美祢に係る指定管理料につきまして、当初、原油の高騰分等を見込みまして、予算等を計上しておりましたけれども、精算の結果、発生いたしました不用額でございまして。

次に、その下、15節工事請負費におきまして、170万7,200円を計上いたしております。これは、当初予定いたしておりましたサンワーク美祢屋根防水補修工事を執行しなかったことによるものでございます。当該工事不執行の理由につきましては、現場での対応で事態が改善したこと、また部分的な改修では根本的な改善にはならないということから、改めて全体的な改修について検討する必要があるという判断から、工事に着手いたさなかったものでございます。

労働費については、以上でございまして。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。三好委員。

○委員（三好睦子君） 成果報告書の49ページの就職祝金給付事業なんですが、私は働く人は誰もが正社員が当たり前、という立場でお尋ねいたします。

この事業は、正規社員であることと規定してありますが、正社員で入社したかどうかはどこで確認するのでしょうか。申請書には会社員の印をもらうことになっていて、正社員であるかどうかの証明はありません。今まではどうなっていたのでしょうか。お尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの三好委員の御質問にお答えいたします。

会社における対象者の把握の状況ということでございますけれども、各市内の企業様におかれましては、市のこの就職祝金につきましての制度を周知していただいておりますので、会社の人事の担当者のほうから毎年、御報告いただきまして、そのうえで人数等を把握しておるのが現状でございます。

以上でございまして。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に、農林費を議題といたします。執行部より説明を求めます。志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） それでは、6款農林費について御説明いたします。

決算書一般会計部門の80ページから87ページでございます。成果報告書の50ページの1項農業費・3目農業振興費です。

2はじめてみ～ね野菜チャレンジ事業につきましては、契約栽培による野菜等の作付けを支援するための補助金150万円を支出しております。

4経営所得安定対策推進事業につきましては、国の経営所得安定対策に係る経費として、美祢市地域農業再生協議会への現地確認作業謝金等の補助金を含め、1,132万4,000円の支出をしております。なお、国から直接市内の農業者に経営所得安定対策等交付金として、約4億7,750万円が交付されております。

51ページ、5担い手育成総合支援事業につきましては、集落営農法人の設立支援等を行う（1）集落営農加速化推進事業及び認定農業者の経営改善を支援する（2）認定農業者生産振興支援事業に合わせて110万3,000円の補助金を支出しております。

6新規就農者支援対策事業として、（1）青年就農給付金事業としまして、9名の新規就農者に対し、1,156万3,000円の給付金を支出しております。また、（2）はじめてみ～ね農業応援事業としまして、就農前後における就農者への支援として446万2,000円を支出しております。

7中山間地域等直接支払事業につきましては、106協定に対して1億3,974万1,000円の交付金を支出しております。交付対象面積は、1,189.5ヘクタールとなっております。

続きまして、9農地中間管理事業にかかる経費といたしまして、5,855万円を支出しております。各種の協力金延べ面積約184ヘクタールに対して、5,712万6,000円の補助金を交付しております。

次に52ページ、11農業経営体質強化事業につきましては、梨強化棚の設置に伴う補助金801万3,000円を支出しております。

12新規就農者受入体制整備事業として、新規就農者を雇用した法人等に対して機械・施設の整備のための補助金、1,257万1,000円を支出しております。

続きまして、4目農地費です。2単独土地改良事業として、比較的小規模な水路改修などについて、地元受益者が行う工事15件に対して、341万5,000円の補助金を支出しております。

3多面的機能支払事業として、27の活動組織に1億970万1,000円を支出しております。交付対象面積は約1,588ヘクタールとなっております。

53ページ、4県営中山間地域総合整備事業、5県営農地整備事業、6県営農業用河川工作物応急対策事業につきましては、それぞれ県工事に係る負担金を支出しております。

7単独県費土地改良調査事業につきましては、各種事業に係る調査経費として、394万2,000円を支出しております。

8団体営農地防災事業につきましては、伊佐町大浴ため池の測量設計業務として200万円を支出しております。

次に、54ページ、5目畜産業費です。1畜産振興推進事業としまして、畜産振興を図るために畜産部会の補助金等352万9,000円を支出しております。

続きまして、2項林業費・1目林業総務費です。秋吉台山焼き事業につきましては、防火帯の草刈り、及び当日の火入れに伴う費用や損害保険料等として、1,032万1,000円を支出しております。この事業につきましては、各集落、各種団体に御協力をいただいております。

2目林業振興費です。1森林整備地域活動支援交付金として、民有林の森林施業集約化を図るため、5協定に対し259万6,000円を交付しております。

次に、55ページ、3目森林整備費につきましては、1森林整備補助事業として、造林事業の経費を補助する森林整備推進事業補助金等に868万9,000円を支出しております。

2流域公益保全林整備事業として、国の補助事業を活用し、市所有林の保全管理のための間伐作業道の開設などを実施し、4,623万5,000円を支出しております。

次に、4目林道費につきましては、林道を適切に管理するための維持管理・補修に、331万8,000円を支出しております。

次に、5目治山事業費の1小規模治山工事につきましては、3件の山地崩壊の復旧・予防のための工事費、及び1件の小規模治山事業補助金としまして、総額

747万6,000円を支出しております。

6目有害鳥獣対策事業費です。1有害鳥獣捕獲奨励事業につきましては(1)有害鳥獣捕獲奨励事業として、995万5,000円を支出しております。これは、捕獲奨励金でイノシシ1,542頭、シカ440頭、サル66頭ほかとなっております。

市単独事業の(3)獣害防護施設設置事業としまして、38名の方に116万1,000円の補助金を支出しております。

56ページの4鳥獣被害緊急総合対策事業補助金として、2,169万3,000円を支出しております。これは、進入防止柵・サル用わなの購入・モンキードックの養成等を実施しております。

続きまして、歳出の不用額が生じた主なものについて、御説明申し上げます。決算書の82、83ページをお開きください。

3目農業振興費の11節需用費におきまして、126万3,000円の不用額が生じております。これは、主に美祢市農業振興地域整備計画に必要な図面を作成することとしておりましたが、県及び関係機関との協議に時間を要したため図面の作成ができなかったためとなっております。

なお、この計画については、本年の12月に策定予定となっております。

13節委託料におきまして、152万円の不用額が生じております。これは、主にいきいき農地リフレッシュ事業におきまして、取り組み実績が少なかったため、不用額が発生しております。

19節負担金補助及び交付金につきましては、396万3,000円の不用額が生じております。これは、主なものといたしまして経営所得安定対策推進事業における美祢市地域農業再生協議会の事務経費の軽減のためとなっております。

次に、4目農地費・28節繰出金の923万9,000円については、農業集落排水事業特別会計繰出金の減額となっております。84、85ページをお開きください。

2目林業振興費の19節負担金補助及び交付金につきましては、132万円の不用額が生じております。これは、主なものといたしまして森林整備地域活動支援交付金において、集約化のための施業等が予定数に達しなかったためとなっております。

以上で農林費の説明を終わります。

○委員長(猶野智和君) 説明が終わりました。それでは、質疑をおこないます。質疑はございませんか。秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） 主要施策成果報告書ですね、54ページ——56ページ、すみません。ここにありますが、サル用大型囲いわな1基を設置されておられますけども、これで旧美祢市合わせて3基目だと思うんですよね。今年は、27年度は旧美祢市のほうに設置されるという話し聞いておりましたけれども、どこに設置されたのか。

そしてその過去、たしか2基だと思いますが、2基の今設置をしてどういうふうに移動されたか、移動させておるもんかどうか。その費用はどこから出すのかですよね。でるもんか。実質的に成果として、この3基がですね、どのような成果を収めておられるか。トータルでは66匹ですかサルが。ありますけども、この囲いわなに入ったサルの数っていうのはどのくらいな成果が上がっているかどうかということ。

そして、恐らく補助金でやっておられますから今後28年度もやられるもんかどうかということ。ちょっとお聞きします。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） 秋山委員の御質問にお答えいたします。まず、サル用囲いわなの実績でございますが、27年度は美東地区と秋芳地区に1基ずつ設置をしておりました。その捕獲の頭数は四十数頭だったと記憶をしております。

大型囲いわなの移動についての御質問もありましたが、現在当初設置した場所から移動しておりません。

続きまして、本年度美祢市のほう、美祢地域のほうに3基目の大型囲いわなを設置しております。場所を詳しく今名前が出てこないのの後ほどお答えをさせていただきます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） 果たして、囲いわなですから同じところに設置しておいて、そこにまた入ってくるもんかどうかも確認はなされておられますか。そして、やはりサルも移動しますからやはり出るところを的を絞って移動させん方がいいんじゃないかと思うんですよね。結構旧美祢市市内でも梨の被害が今随分出ていますので。地域の要望とすれば、ぜひ囲いわなをおいていただきたいという箇所もありますので、そういう要望をぜひ聞いていただいてより成果の上がるような囲いわなの設置をお願いしたいというふうに思っております。

○委員長（猶野智和君） 要望で……答弁ですか。秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） いや、要望というか実際にどういう考え方かということですよ。移動させるのか、されないのか。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） ただいまの御質問にお答えをいたします。秋芳の大型囲いわなにつきましては、2年目となりますが、1年目にも入っておりますし、2年目にもまた同じ場所に入っておるという状況、捕獲しておるという状況です。

移動をさせないのかという御質問ですが、今年度の——来年度の予算でその辺の検討をしておるところであります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 秋山委員。

○委員（秋山哲朗君） それとですね、殺処分、サルの殺処分はどういうふうな手段を取っておられるか。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） 殺処分の方法についてですが、大型囲いわなということではわなの中に捕獲をして、まあそこに餌がある間は餌を食べるんですが、その餌をやらずに例えば1週間から10日、そこから逃げられませんのでそこで弱った時に猟友会のほうにお願いをして止め差しという方法を取らせていただいております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかに、はい。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねいたします。成果報告書の55ページの有害鳥獣対策事業ですが、これは有害鳥獣捕獲事業のなかで単市の事業として電気柵が補助されてます。これは、補助金は2分の1の補助なんですが、この上限は5万円ということなんですけれど、これを早く申請をしないと予算がなくなって打ち切りになることが多いんですが、27年度はいつなくなったのでしょうか。

それと、29年度はふやされるかどうかお尋ねいたします。

それと、有害鳥獣被害防止対策事業、これは国の事業でその補助は100%あるということなんですが、この補助枠の枠をふやしていただくように県を通じて国に要望できないかを2点お尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） ただいまの三好委員の御質問にお答えをいたします。単市で行っております防止柵を補助する事業ですが、27年度は8月ぐらいに予算額がなくなつたと記憶をしております。29年度の増額につきましては、今後予算の時に検討してまいりたいと思います。

また、国の総合対策の補助金につきましても県を通じて増額の要望を行っていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に、商工費を議題といたします。執行部より説明を求めます。白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） それでは、商工費について御説明を申し上げます。

歳入歳出決算書につきましては、86ページから、成果報告書につきましては56ページからでございます。成果報告書の56ページをごらんいただけたらと思います。7款・1項商工費・1目商工総務費についてから御説明させていただきます。

まず、1の竹材等資源活用事業については、美祢市農林資源活用施設の管理・運営に要する経費として3,193万5,000円を支出いたしております。主な経費は、指定管理者である美祢農林開発株式会社に対する指定管理料1,469万円と竹林等資源活用事業運営補助金1,700万円でございます。

続いて、2目商工振興費について御説明でございますが、1の商工業活性化事業につきましては、平成26年度の補正予算におきまして、地域住民生活等緊急支援のための交付金事業として計上された繰越事業分と合わせて合計で6,709万9,000円を計上いたしてございます。

主な事業につきましては、ここに記載のとおりでございますけれども、事業費については（1）の美祢市商工会に対する商工会支援事業において1,330万円、（2）の商品券発行事業では5,289万6,000円を支出いたしております。昨年は、12枚つづりの期限付きのプレミアム商品券を2万3,000セット発行いたしたところでございます。次の（3）の商店街活力アップ支援事業につきましては、秋芳町秋吉の秋芳洞商店街で実施をされました秋芳洞商店会にぎわい創出事業に対する66万

6, 000円を支出いたしております。

次に57ページのおよそ中ほどでございますけれども、5の美祢あきない活性化応援事業として、118万円を支出いたしております。

この事業は、補助対象産業を開業した事業者に対しまして、改修費並びに家賃に対する補助金を交付するものでございますけれども、平成27年度中の実績は表のとおりでございます。改修費補助に対する1件、家賃補助に対する5件でございます。

続きまして、6の住宅リフォーム助成事業につきましては31件の利用がございまして、事業費として484万円を支出いたしております。

なお、この5と6の事業につきましては、先ほど申しました国の交付金事業として実施いたしましたものであり、いずれも繰越事業でございます。

次に、7交流人口拡大事業といたしまして599万円を支出いたしております。これは、毎年4月に開催されますみね桜まつりの開催に関わる補助金を49万円、9月開催の美祢ランタンナイトフェスティバルに係る補助金として550万円をそれぞれ交付いたしております。

昨年度の集客人数につきましては、表に記載のとおり、桜まつりは6,000人、美祢ランタンナイトフェスティバルにつきましては、2万人の集客となったところがございます。

ちなみに、本年度の開催状況について申しますと、桜まつりににつきましては、4月2日に開催されまして、好天にも恵まれ1万5,000人の方々に御来場いただきました。

一方で、9月17日と18日の2日間開催されましたランタンナイトフェスティバルにつきましては、台風の直撃は免れたものの2日間、継続的に降りました雨の影響で、来場者数は2日間で1万4,000人と報告をいただいているところでございます。内訳は、17日が8,000人、18日が6,000人というところでございます。

次に、3目流通対策費についてでございます。主要事業につきましては、次のページ、58ページの1番上でございますのでごらんいただけたらと思います。

2の消費者相談窓口機能強化事業でございます。これには160万円を支出いたしております。これは、消費生活相談員に係る人件費等でございます。本年4月から消費生活センターを設置し、相談体制の強化に努めているところでございます。

ここで、決算書の88、89ページをお開き願いたいと思います。

89ページの下から8番目、19節負担金補助及び交付金につきまして不用額1,373万191円を計上いたしてございますけれども、これは、平成27年度中に実施いたしました各種事業につきまして、精算の結果発生いたしましたものでございます。このうち、繰越事業として実施いたしました商店街活力アップ支援事業、また美祢あきない活性化応援事業等に係るものが701万8,000円、現年度事業分として実施いたしました融資事業等におきまして、671万2,000円の不用額をそれぞれ計上いたしております。

○委員長（猶野智和君） 繁田観光振興課長。

○観光振興課長（繁田 誠君） それでは、4目観光費について御説明をいたします。

主要施策成果報告書につきましては58ページ及び59ページをお開きください。決算書におきましては、90ページから91ページとなります。

まず、成果報告書の1観光推進体制強化事業といたしまして1,354万3,000円を支出しております。これは、主に観光協会運営基盤補助金といたしまして、会長、専務理事等の人件費及び理事の行動費等に対する補助などがございます。

続きまして、3観光振興計画推進事業としまして、151万3,000円を支出しております。これは、新たな事業として、平成27年度から平成31年度まで定めました美祢市観光振興計画の進捗状況を目標指標の数項目に基づき、アンケート等の調査を行った事業でございます。

次に、6新たなコンテンツを利用した情報発信事業としまして1,188万円を支出しております。これは、漫画・アニメキャラクターを活用して、ARアプリ開発を行い、観光地を楽しく紹介するなど、情報発信を行ったところでございます。平成28年度は秋芳洞・秋吉台でのARコンテンツの開発を行っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 安永観光総務課長。

○観光総務課長（安永一男君） 7観光施設改修事業について御説明いたします。支出額2,702万4,000円。（1）大岩郷周辺整備事業公衆便所改修1,785万5,000円、この内容につきましては、公衆便所の改築工事と公衆便所で使用する水を確保するための井戸ボーリング工事でございます。（2）秋芳名水ふれあい広場便所等改修事業916万9,000円。この内容につきましては、秋芳名水ふれあい

広場の既存便所の改修、身障者便所の増築及び通路の整備工事でございます。

続きまして、不用額が生じたものについて、主なものについて説明をいたします。決算書90、91ページをお開きください。

4目観光費について、15工事請負費の支出額は2,702万3,760円でございます。内訳につきましては、大岩郷公衆便所改修が1,310万2,560円、公衆便所で使用する水を確保するための井戸ボーリング工事が475万2,000円、秋芳名水ふれあい広場の既存便所の改修、身障者便所の増築及び通路の整備工事が916万9,200円となります。予算額3,682万6,000円に対しまして、980万2,240円の不用額がありますが、主に落札減によるものでございます。

28繰出金の支出額は9,511万9,696円でございます。この内容につきましては、秋吉台リフレッシュパークのトロン温泉に関わります、市民の福祉事業分及び秋芳洞と観光鍾乳洞に係る市主催事業等による観覧料の減免分の補填、秋吉台エレベーター及び景清洞トロン温泉、秋吉台家族旅行村の施設改修の工事費でございます。

内訳といたしましては一般と市民の入浴料金の差額の補填が235万1,696円、秋芳洞と観光鍾乳洞に係る市主催事業等による観覧分減免分の補填が146万8,000円、ふるさと美祢応援基金繰出金が880万、これは景清洞、トロン温泉に係る改修費用に充当しております。

続きまして、一般会計貸付金8,250万円でございます。予算額1億2,200万円に対しまして2,490万304円の不用額がございますが、繰出し先の観光特別会計で実施された秋吉台エレベーター及び景清洞、トロン温泉、秋吉台家族旅行村の施設改修事業の落札減によるものでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） 続きまして、成果報告書同じ59ページでございますけれども、5目道の駅管理経費についてから御説明させていただきます。

5目の道の駅管理経費につきましては、これは道の駅おふく並びに道の駅みとう及び美東都市と農村交流の館に係る経費でございまして4,945万2,000円を支出いたしております。

主なものは、道の駅おふくに対する指定管理料1,429万5,000円と道の駅みとう隣接地への遊具の撤去及び設置にかかる工事請負費が2,064万9,

000円でございます。

次に、7目企業誘致対策費については、企業誘致推進事業として391万円を支出いたしてございます。このうち、160万円につきましては、美祢市企業立地奨励条例に規定された雇用奨励金を2社に対して支出いたしたものでございます。

次に、61ページの1番下の8目十文字工業団地給水施設費において、792万3,000円を支出いたしております。この十文字工業団地におきます、給水施設については将来的に水道事業局への移管も予定しているところではありますが、その際に必要となります給水施設資産台帳等の整備に係る費用を業務委託料として578万1,000円支出いたしたところでございます。

続きまして、60ページをお開き願いたいと思います。9目六次産業化推進事業費でございます。まず、1の六次産業化推進事業におきまして総額401万1,000円を支出いたしております。

その内訳として、(1)六次産業化スキルアップ事業におきまして47万7,000円を支出いたしております。内容は、農林畜産業の分野において相当な見識を持つ方など11名の委員により構成されます美祢市六次産業化振興推進協議会の運営と六次産業化セミナー等を開催いたしたものでございます。

次の(2)六次産業化振興推進事業につきましては、新たな加工品の開発、製造及び販売等を実施される事業所に対して最大20万円の補助金を交付する事業でございます。昨年度は6件、93万6,000円を支出いたしております。

次の(3)地域ブランド化推進事業につきましては、六次産業化振興推進事業のうち、市の地域ブランドとなり得る可能性のある加工品の開発等の事業で、補助対象経費が60万円を超えるものに対して最大100万円を交付する事業でございます。

昨年度は、3社に対して259万8,000円を支出いたしてございます。

なお、この事業は国の平成26年度繰越事業として実施いたしたものでございます。

次に、2ミネコレクション推進事業について御説明申し上げます。

まず、(1)ミネコレクション認定事業につきましては、御承知のミネコレクションの認定に係る経費として6万5,000円を支出いたしております。

先ほど説明した美祢市六次産業化振興推進協議会に専門の事項について審議する組織として8名の委員からなるミネコレクション審査会を設置し、ミネコレクションの認定に係る御意見等を賜っているところでございます。

昨年度におきましては、平成28年11月に開催をされ、5事業者9品目が認定されました。この結果、ミネコレクション全体で申しますと、現在、16事業者43品目が認定をされております。

次の(2)ミネコレクションプロモーション事業につきましては、ミネコレクション認定商品を、国内さらには台湾に向け、パンフレットやポスター、雑誌等を活用することによって情報発信する事業でございまして、昨年度は、パンフレット作成等に係る経費として総額454万3,000円を支出いたしてございます。

この事業に係ります新たな動きといたしましては、昨年9月に認定者協議会を設立し、認定者の所得向上や美祢市の認知度向上のため、認定者同士が連携し、協力体制を確立することによってミネコレクションの情報発信及び販売促進に関わる取り組みを進めているところでございます。

次の(3)ミネコレクションブラッシュアップ事業につきましては、Webサイトの立ち上げを実施するとともに専門家を講師として招き、その専門家から個別のアドバイスを受けることにより改良を促すなど、ミネコレクション認定商品のさらなる商品力の向上促進のためのサポートを行い、昨年度におきましては129万6,000円を支出いたしてございます。

次に(4)ミネコレクション販路拡大バックアップ事業におきましては、19万9,000円を支出してございます。

事業内容は、今後の海外展開、インバウンドをターゲットとしたマーケティング手法や認定商品のブラッシュアップのための調査を行うもので、台湾へ職員を派遣し、現地の旅行代理店を訪問し、パンフレットを用いた認定商品のPRやパッケージ等に関する意見聴取を実施いたしたところでございます。

続いて、不用額についての説明でございすけれども。歳入歳出決算書の90、91ページをお開き願いたいと思います。5目の道の駅管理経費において、91ページの1番下の第13節委託料におきまして、不用額142万9,380円を計上してございます。これは、道の駅おふくにおきまして、当初、原油の高騰分を見込み予算を計上していましたが、精算の結果、発生いたしたものでございます。

次に92、93ページをお開き願います。7目企業誘致等対策費におきまして、93ページのおよそ中ほど、8目報償費におきまして235万7,000円を計上いたしてございます。これは、美祢市企業立地促進条例に基づく雇用奨励金でございす

けれども、実績に基づきまして不用額が生じたものでございます。

商工費については、以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。岩本委員。

○委員（岩本明央君） 決算報告書の59ページ、一番下のほうをお願いいたします。これ、十文字の工業団地の水道の関係なんですけど、大変結構なことだと思います。ただあそこは十文字のほうからずっと宇部市の方へいくところに水源地があるんですけど、これ、全部既に先般の企業誘致で全部埋まりまして水量が一番心配なんですけど、その辺の水量の確保の測量とかそういうのは心配ないんでしょうか。お尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの岩本委員の御質問にお答えしたいと思います。工業団地内の水量についてのお尋ねだったと思いますけれども、この水量につきましても常々私どもも企業誘致をするにあたっては意識しておるところでございます。事業の開始を御提案いただいた際から水の量については常々調査をし、その過不足について常に意識を持って対応しておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） 成果報告書の56ページの商工費の中の2番の第三セクター改革推進事業。2つの第三セクターの徹底した効率化、経営健全化を図るためにということによって改革推進委員会を開催されたということになってます。

これは、このことについてどういったメンバーの方で改革推進委員会をやられ、どういった改革の案が出て、それが現在反映されてて、その上期ですか、9月前ですけど、そのあたりの成果というのはどういうふうになっておるんでしょうか。お聞きしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの質問につきましては、第三セクター改革推進委員会についての御質問でございますけれども、まず委員といたしましては中小企業診断士さん、弁護士さん、社会保険労務士さんそれから税理士さん以上の4名によりまして委員会が構成されておられます。

この委員会につきましては第三セクターの経営状況等の分析評価、それから第三セ

クターの基本的な方針等の策定、それからその他委員会の設置目的を達成するために必要な事項、このそれぞれについて御審議をいただいておりますけれども、これは25年度、26年度から設置をされまして、この成果というところでは、この美祢市第三セクターに関する指針、これは、美祢市のオリジナルの指針でございますけれども、これを平成27年3月に作成をいただいております。

これは、国の第三セクター等の経営健全に関する指針、これに基づいて美祢市としての指針を定めるにあたって、御意見等賜ったものでございます。

このそれ以降ですけれども、この現在ございます指針が完成系とは考えておりませんのでこの中身を充実するというところがございますけれども、そもそもこの改革推進委員会につきましては行政として第三セクターに対する適切な関わり方、これについて各専門家からの御意見を賜る場であるというふうに認識をいたしてございます。現在はそういったその中でゴーイングゴーサンということで事業継続の前提となる条件の明確化が求められておりますことから市におきましてもこの件についての問いをさせていただいておりますけれども、現在まだ委員からは、具体的なものを出す状況に至っていないと。

まあ今後継続の基準については社会的な貢献をしているか否か。また、産業連関表を使用した経済的波及効果、まあそういったことを求めるという切り口でそういった行政が関わっていくことの必要性を考えてみたらいかかという御提案を今いただいております。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。はい。山中委員。

○委員（山中佳子君） 成果報告書57ページ、住宅リフォーム助成事業についてお尋ねいたします。これは助成事業ですが、この期間、何月から始まって何月に終了したのか、お教えてください。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） ただいまの山中委員の住宅リフォームに関わる御質問で募集期間ということでございましたけれど、通年でしたら、数週間から何カ月という期間で募集を行っておるんですけれども、ちょっと今年はですね、今年度に限って申しますと、非常に特殊でして（発言する者あり）……ごめんなさい。27年度は1カ月間でございます。4月から5月まで。ちょっと具体的には、4月21日から1カ月間という記憶をいたしております。

○委員長（猶野智和君） 山中委員。

○委員（山中佳子君） わずか1カ月でこの481万という——484万ですかという金額が皆消化できたということですが、本年度今、28年度に200万と付いているわけですが、予算は。ちょっと今言われましたけど、ちょっとお聞かせください。済みません。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） 大変失礼いたしました。去年は今申し上げたとおりですけれど、今年例年と動きが違っておりました。今年朝私たちが庁舎に出向きますともう何人か待ってらっしゃるような状況で実は1日で埋まってしまったというのが今年の現状でございます。

今後こういった状況が今年特異なものなのか、今後続くものなのか、ということ踏まえて検討し直す必要があるかというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岩本委員。

○委員（岩本明央君） 今の山中委員の質問に関連しておるんですが、さっきあの次長さんが答弁されたようにこれあの大半のあれが大工さんを通して申請をしておられるケースが多いと思いますが、確かにはあもう丸っきり話しにならんぐらい早かったというふうなお話を聞いております。ぜひですね、29年度はもっともっと増額をして、いただきたいことを要望いたしますのでよろしくお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。末永委員。

○委員（末永義美君） 失礼します。主要成果報告書の58ページです。美祢にぎわいステーションについてお伺いします。こちらの施設は私の地元にあつて、美祢駅構内にあつていろいろな目標があつたかとは思ふんですけれども、住民の方々からはいろいろな御意見を賜っています。その中でこの数字の振り分けですね。また同じく、振り分け等利用者数というのは何をもちて利用者というふうにあてがうのか、訪問者なのか。それからここにいるスタッフがどこかに観光施設とかお土産の販売とかの御案内したということを持つてなのか何をもちての利用者数なのかをお示してください。

○委員長（猶野智和君） 繁田観光振興課長。

○観光振興課長（繁田 誠君） ただいまの末永委員の御質問にお答えをいたします。

Mineにぎわいステーションの利用者数の考え方ですけれども、こちらの施設の

業務管理のほう、一般社団法人美祢市観光協会のほうに委託をしております。

1名職員が勤務しております、毎日、利用者等の日誌をつけておりまして、それを1月ごと報告を上げていただいております。その統計数字によるものでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。（発言する者あり）末永委員。

○委員（末永義美君） 失礼します。その報告の内容というのは、（聞き取り不可）例えば、1例でもいいですから、もう少し詳しい内容はお示しできますでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 繁田観光振興課長。

○観光振興課長（繁田 誠君） ただいまの末永委員の御質問にお答えをいたします。

ただいま、日報等の実績報告を持っておりませんので詳しいことは述べられませんけども、1日の利用人数。それほど大きい人数ではございませんので、利用人数と主にどういった特徴的な問い合わせ、または御意見があったか、または取り次ぎ產品については、数件しかございませんけども、それについての記載等がございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 末永委員。

○委員（末永義美君） さきほども申し上げましたが、地元住民からはほんといろいろな御意見があって、あそこを中心にですね、できれば美祢駅から始まって、美祢駅前、そして旧吉則商店街を含めた美祢駅周辺の再生と言いますか、もう一度、美祢市の真ん中と住民が、そして観光客の方々もが思えるような新しい、再生という意味で希望をもっています。

ですから、今申し上げたとおりあそこの部分のもう少し、利用者数の内容。私がこの場に立つ前に、いろんな人とお伺いした時があって、御質問してもなかなかわからないような雰囲気があったんですね。ちょっと言うと観光協会のほうに聞いてくれというのが何ぼかあって、たまたま東京から来た私の友達も知らずにあそこへ入った時にちょっと不便さというか、お土産も買えなかったというような意見がありました。

ぜひ、市のほうからも観光協会の方を通してですね、なんかもう少し、よりよい場所としての発展のためにもアドバイスとかまた協議とか含めて、よろしくお願いたいたいということと、さきほど申し上げたこの数字のこちらこの部分はほとんどが観光協会への補助金等というふうに捉えていいんでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 3回目ということで。これでよろしいですか。繁田振興課長。

○観光振興課長（繁田 誠君） ただいまの末永委員の言われました最後の御質問、もう一度確認のために、お聞かせ願います。

○委員長（猶野智和君） 末永委員。

○委員（末永義美君） この金額ですね、補助金のほとんどが、観光協会のほうに回されているのか、もしくはその他細目があれば内訳をお示してください。

○委員長（猶野智和君） 繁田観光振興課長。

○観光振興課長（繁田 誠君） ただいまの末永委員の御質問にお答えをします。

Mine にぎわいステーションの活用方法、そのあり方等につきましては総合観光部にも一般の方から問い合わせがありまして、その都度丁寧に今後の考え方等、改善方策を御回答しているところでもございます。

開設当初の平成26年度は2カ月開所いたしまして、利用者数が1,417人。1カ月当たり、開所当初でもありますので700人を超えておりますが、平成27年度は1年間、12カ月で5,096人に留まっております。それと併せまして、美祢線の利用も25年度から27年度にかけて減少傾向にございます。

今後にぎわいステーションの改善につきましては、情報発信が滞らないように、関係所管課、総合観光部、世界ジオパーク推進課、商工労働課等と協議をしながら発信が停滞しないように、にぎわいを創出してまいりたいと思いますし、もう一方、JR美祢線利用促進協議会もございますので観光イベント等盛り上げていって利用促進につなげたいと考えております。

運営費につきましては合計金額が485万1,949円となっております。消耗品費3,218円、光熱水費16万6,248円、通信費8万1,856円、保険料3,067円、観光協会への委託料459万7,560円となっております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。三好委員。

○委員（三好睦子君） 今の末永委員に関連してですが、私は六次産業に関してお尋ねしますが、Mine にぎわいステーションなのですが、この六次産業のミネコレクションとかが展示されていますが、取り次ぐということなんですが、観光客の方とかあれをみてすぐ買いたいと言う方はいらっしゃると思います。私もそういう場に遭遇したことがあります。すぐその場で買うことは、売ってもらうことはできないということなんですが、このままでいいのかどうかお尋ねします。せっかく売れるチャンスが

あるのに、ほんとに逃してしまって、おいしいと思うのですが、このままでいかれるのでしょうか、お尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 今後のあり方をどう考えいらっしゃるかということでお答えいただければ。繁田観光振興課長。

○観光振興課長（繁田 誠君） ただいまの三好委員の御質問にお答えをします。

ミネコレクション等の販売ができないかということですが、確かに委員言われますとおり、そういった御希望があることは承知をしております。

Mineにぎわいステーション内での販売等の制約につきましてはJR等との協議もごございますけども、できるだけ、市民及び観光客交流のお見えになった方々に満足していただけるよう今後所管課と協議しまして発展的に考えてまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） これは関連ですか。三好委員。今の話しです。（「いえ、続きですけど商工に関することで」と呼ぶ者あり）はい。どうぞ。

○委員（三好睦子君） 成果報告書の59ページの道の駅の件ですが、美東の道の駅の遊具の設置では、ほんとにありがとうございました。地元の方や観光客の方に大変喜ばれています。ありがとうございました。それで、トイレの件ですが、これはあのトイレを改修してほしいということを共産……県のほうにも、行っております。このトイレは県の管轄ということで県のほうにも改修していただくように要望しておりますが、27年度にも要求しておりますが、県からどのような回答がありましたでしょうか。お尋ねします。

それともう1件、キャンピングカーで道の駅に1泊される方にもありました。それで、テーブルやイスが設置されて快適だということでしたが、食器を洗ったりするところの水を汲む場所がないということなんですけど、トイレで食器を洗いたくないでしょうし、川で洗うわけにもいかないでしょう。1カ所でもいいのですが、水が使える場所を設置していただくと観光客のおもてなしにもなるのではないかと思います。お考えをお尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 白井建設経済部次長。

○建設経済部次長（白井栄次君） 2つほど御質問いただいたかと思いますが、1つ目がトイレの件、道の駅みとうのトイレの件なのですが、さきほどおっしゃった

ように県の管理部門ということで、県だから市だからということじゃないですけども実際トイレにつきましては、市が対応した部分もございますけれど、新たな要望につきまして私どもの担当のほうにも確認してみたんですけども、ちょっとそういう認識がないようでしたので、はい。その辺は再度確認はいたしたいと思うんですけども、以前お電話でそういった要望が出てると伺った時に担当のほうにも道の駅みとうの方にも尋ねてみたんですけども、現場ではそういう認識はないということでございましたので、ちょっとその辺は改めて確認させていただければというふうに思っています。

水道の件につきましてもですけど、これも予算と諸々のことがございますので、費用対効果といいますか、ただそれを状況等をどこまで見込めるのかという想定をす中で判断していくべきことであろうと思いますのでちょっとここでの答えは明確にはできませんけれども、今後の検討材料ということだろうかと思います。

以上でございます。

〔「すみません」と呼ぶ者あり。〕

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） あのですね、あそこ利用される方が、ペットボトルで水がほしいという時にトイレの洗面所のところで……

○委員長（猶野智和君） 三好委員。気持ちは分かりますけれど御要望はちょっとお控え……（「いやいや、だから入らないという事情をお知らせしたかったので、よろしくをお願いします。」と呼ぶ者あり）御検討するという御答弁がありましたので。杉山委員。

○委員（杉山武志君） 59ページ、報告書の59ページの上のほうですね、7目大岩郷の周辺整備事業についてちょっとお尋ねしたいと思います。先ほど井戸のボーリングを475万2,000円程度、ボーリングに要したというふうにお話しがあったと思うんですが、間違っておればまた訂正していただきたいんですけど、ちょっと井戸をボーリングしてつくるには高額だなと思いました。で、あの掘るメートルにもよって異なりましようから、どれくらい掘られたのか。これに付随してこういう設備も設けたんですよというのがあれば教えていただければと思います。よろしくお願います。

○委員長（猶野智和君） 後ほど……今わかりますか。安永観光総務課長。

○観光総務課長（安永一男君） ただいまの杉山委員の御質問について回答いたします。  
今その工事についての資料を持ち合わせておりませんので、また後ほど回答させていただきます。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に、土木費を議題といたします。執行部より説明を求めます。中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） 報告書の60ページをお開きください。下段の8款土木費につきまして、主な事業を御説明いたします。

まず、1項土木管理費・1目土木総務費・2の道路台帳作成事業でございますが、これは、市道道路台帳修正業務でございます。280万8,000円を支出しております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） 61ページ、2目地籍調査費の地籍調査事業につきましては、美祢・美東地域合わせまして、1.82平方キロメートルの調査にかかる経費といたしまして、5,814万8,000円を支出しております。

なお、平成27年度末の進捗率については43.55%となっております。

○委員長（猶野智和君） 中村建設課長。

○建設課長（中村壽志君） 続きまして、その下、2項道路橋梁費・1目道路維持費でございますが、1の道路維持管理事業といたしまして、（1）の市道道路維持業務ほか56件、また（4）の市道古鳥帽子嶽線舗装補修工事ほか38件などに8,489万9,000円。また、2の社会資本整備総合交付金事業といたしまして、（2）の道路標識総点検業務、第1工区ほか2件、また（3）の市道麦川桃ノ木線法面防災工事ほか1件などに、6,484万円。その下、3のさわやかロード美化活動事業といたしまして、330万5,000円を支出しております。

なお、道路維持費の不用額、1,240万2,000円の主なものといたしましては、委託料、工事請負費、公有財産購入費でございます。委託料、工事請負費につきましては、主には落札減によるものでございます。また、公有財産購入費につきましては、市道麦川桃ノ木線法面防災工事に伴う土地購入費でございます。年度内に地

権者との調整が整わず、不用となったものでございますが、継続事業でありますので、引き続き地権者との交渉を進めております。

続きまして、下段の2目道路新設改良費でございますが、1の道路整備新設改良事業といたしまして、(1)の市道岡村正の田線橋梁詳細設計業務ほか4件、(2)の市道榎田線道路改良工事ほか11件、(3)の県事業負担金などに、1億21万8,000円を支出しております。

なお、道路新設改良費の不用額2,302万6,000円の主なものといたしましては、委託料と工事請負費と負担金補助及び交付金と補償費でございます。委託料と工事請負費につきましては、主には落札減によるものと、新設改良工事のうち2件につきましては、地権者との用地協議が難航し、今年度の執行が困難となったことによるものでございます。

なお、この工事2件につきましては、引き続き協議を進めております。また、負担金補助及び交付金につきましては、県事業負担金でございます。主に落札減によるものと聞いております。また、補償費につきましては、道路改良事業の進捗を図るため平成27年度末まで、予算を確保しておりましたが、年度内に地元との調整が整わず、不用となったものでございます。

続きまして、1枚ページをめくっていただきまして、中段の3目橋梁維持費でございますが、1の社会資本整備総合交付金事業といたしまして、(1)の南松橋橋梁測量設計業務ほか2件、(2)の橋梁通常点検業務、第一工区ほか2件などに5,335万3,000円を支出しております。

なお、橋梁維持費における不用額の164万7,000円の主なものといたしましては、委託料でございます。主には落札減によるものでございます。

続きまして、63ページをごらんください。3項都市計画費・3目都市公園管理費でございますが、1の公園施設維持管理事業といたしまして、下の表にあります西伊佐街区公園などに、1,759万4,000円を支出しております。

続きまして、4目都市公園整備費でございますが、1の美祢さくら公園遊具整備事業といたしまして、2,997万円を支出しております。

続きまして、ページをめくっていただきまして64ページでございます。4項河川費・1目河川総務費でございますが、2の河川維持管理事業といたしまして、(2)の鳴滝川護岸整備工事ほか5件などに、1,202万4,000円を支

出しております。

続きまして、5項住宅費・1目住宅管理費でございますが、1の公営住宅維持管理等事業といたしまして、修繕などに、2,658万7,000円を支出しております。

続きまして、2目住宅建設費でございますが、1の社会資本整備総合交付金事業といたしまして、(1)の於福団地2・3号棟屋根防水改修工事に945万円を支出しております。

続きまして、歳入についてでございますが、審査意見書の43ページをお開きください。(5)の住宅使用料の収納状況でございますが、上段の平成27年度、収入未済額につきましては、現年度分と滞納繰越分を合わせまして、3,437万3,000円、対前年度比、349万3,000円の増となっております。また、収納率につきましては、その右の欄でございますが、82.5%、対前年度比2.0ポイント下回る結果となっております。

これらの状況を踏まえまして、市営住宅家賃滞納整理事務処理要綱に基づき、電話や戸別訪問を行い、納付誓約書を交わすなどの対策を講じているところでございます。

本市においては、高齢化が進行しており、高齢単身や高齢夫婦などの高齢者世帯の割合も高い状況にあり、加えて、最近の社会全体の景気低迷が家計を逼迫し、家賃の収納状況が芳しくないということもあるかもしれませんが、公平に住宅使用料を徴収するため、滞納整理につきましては、継続的、定期的を実施していきたいと考えております。

土木費の説明は、以上でございます。

○委員長(猶野智和君) 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。秋枝委員。

○委員(秋枝秀稔君) 地籍調査の関係でですね、お尋ねってこともないですけど、また今年から11月ごろ予算が始まりますからお願いしておるんですけども、なんと26年度は、182ヘクタールだけということですね。昔多い時は1000ヘクタールぐらいしておったような記憶がありまして、随分面積が落ちているということですね。これ県にお願いしたらですね。予算をつけるというように言われまして、ぜひとも、面積をふやしていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

○委員長（猶野智和君） 質問はよろしいですか。また要望ですか。ほかにございますか。三好委員。

○委員（三好睦子君） 成果報告書の61ページ、2目の地籍調査の件ですが、これを実施されるときの手順というか、流れというかそういうことをお尋ねいたします。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） この地籍調査事業の主な流れについての三好委員の御質問についてお答えをいたします。まず、住民への説明会を開催します。その次に一筆地調査を隣接の方と境界の確認を行います。その後、地籍測量、測量のほうを行います。その後地籍の測定、地籍図等を作成をします。その後成果の閲覧、確認等を御本人に図面等を見ていただきながら確認をしていただき、最終的に登記を行なうという順番になっております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） あのですね、数点お尋ねするんですけど、確認のサインは何回あるのでしょうか。それとですね、立ち会いの時に、最初説明会を行う時なんですけれど、その時印鑑を持って行くことになっておるのでしょうか。まず、最初でその説明会の後に、自分の地籍調査の場所というのは分かるのでその確認をしておくようにとかというような説明があるのかどうか。

それとですね、閲覧の期間っていうのが20日間あるらしいんですが、この閲覧に来らなかった人に連絡はあるのでしょうか。そして、その閲覧があった時にコピーを渡すべきではないかと思いますが、コピーは渡されてないようですが、コピーを渡すべきではないかと思います。

そして、閲覧の後日にもし、内容が違っていたら申し出をするようになっておりますがその申し出をしたとき——閲覧の確認をしたという署名と印鑑はその時にするらしいんですが、その何回するのかということと、閲覧に来られなかった人に連絡があるかないか。

○委員長（猶野智和君） 具体的にこれは（「発言する者あり」）ここは決算に関する審査の場でございますので、今のようなちょっと別なのでこらえてください。ほかにございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。この際暫時休憩をいたします。ここで本来でしたら人が入れ替わるんですが、さきほど観光が調べて数字報告というのがあったと思うんですが、入れ替わってしまうと報告する場が限られたと思いますので……。

午後 3 時 3 3 分休憩

午後 3 時 4 4 分再開

○委員長（猶野智和君） 休憩前に続き、委員会を開きます。志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） さきほど、農林費におきまして秋山委員からの御質問、大型サルの囲いわなの設置場所についてお答えをしておりませんでしたのでお答えをさせていただきます。美祢地域の設置場所は、大嶺町奥分の藤ヶ河内に設置しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 安永観光総務課長。

○観光総務課長（安永一男君） さきほどの杉山委員の大岩郷の井戸ボーリング工事の概要について御回答いたします。深さ 8 4 メートルの井戸ボーリング工事を行いました。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） 申し訳ありません。発言の訂正をさせていただきます。さきほどの発言の訂正をさせていただきます。さきほどの衛生費の時に、決算書の 6 9 ページですが、7 5 歳以上で厚労省が予防接種を 7 5 歳以上にはしてはいけないという内容の通達があったというようなこと私言ってこのような内容の発言をしてしまいました。この発言を撤回いたします。私としては、予防接種ではなくて健康診断と勘違いしておりましたので、ほんとに予防接種ってそこで勘違いしておりましたので申し訳ありません。発言を撤回させていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） それでは、続きまして消防費を議題といたします。執行部より説明を求めます。原川消防本部総務課長。

○消防本部総務課長（原川 章君） 消防費について御説明させていただきます。

主要施策成果報告書の64ページ、65ページをごらんください。

9款消防費・1項消防費・1目常備消防費の主要事業について説明申し上げます。

1 消防職員教育事業としまして、194万3,000円、これは消防大学校、山口県消防学校等の各種専門教育に消防本部職員を派遣し知識・技術の習得、向上に努めたものです。

2 救急業務高度化・緊急消防援助隊訓練事業としまして、29万3,000円、これは救急救命士の運用に必要な研修に係る負担金及び緊急援助隊合同訓練に職員を派遣したものです。現在、消防本部における救急救命士の国家試験取得者は14名、緊急援助隊として、消火隊・救急隊の2隊8名を登録をしております。

3 消防活動用資機材整備事業としまして、45万円、これは火災活動用ホース10本、救助活動用張力計1台を更新整備したものです。

4 通信指令業務共同運用事業としまして、594万6,000円、これは下関市との通信指令業務共同運用に係る運用経費負担金です。

5 消防救急無線デジタル化共同整備事業としまして、1,170万9,000円、これは下関市との消防救急無線デジタル化共同整備に係る工事整備費及び運用負担金です。昨年度は、整備3カ年の最終年であり、消防救急無線はアナログからデジタルに完全移行しております。参考に、平成27年の災害出動状況を記載しております。

次に、2目非常備消防費の主要事業について説明いたします。

1 消防団員教育事業といたしまして、244万2,000円、これは、県消防学校専門教育派遣及び各種訓練を実施し、消防団員の技能向上に努めたものです。

2 消防ポンプ自動車等整備事業といたしまして、1,347万8,000円、これは消防団赤郷第3部隊、別府第4部隊の小型動力ポンプ付き積載車を更新整備したものです。

3 災害活動用情報通信機器整備事業といたしまして、71万3,000円、これは消防団員安全装備品整備等助成金を充用しまして、災害活動用携帯トランシーバー22台を消防団部隊に配備をしたものです。

4 消防ポンプ自動車更新、石油貯蔵施設立地対策補助事業として783万円、これは、石油貯蔵施設立地対策等補助金を充用しまして、消防団伊佐第3部隊の小型動力ポンプ付き積載車を更新整備したものです。

参考に、平成27年度の消防団出動状況を記載しております。

66ページをごらんください

次に、3目消防施設費の主要事業について説明いたします。1耐震性貯水槽設置事業といたしまして、1,031万8,000円、これは消防水利の充足を図るため、市内2カ所に耐震性防火水槽を設置したものです。この事業は国の平成26年度補正事業として、平成27年度に繰り越して実施をしております。

2既設防火水槽改修蓋設置事業といたしまして、603万2,000円、これは安全面、衛生面を考慮し市内4カ所の既設防火水槽に蓋を設置し改修・整備をしたものです。

3消火栓新設改良事業といたしまして、799万2,000円、昨年度は市内12箇所の消火栓を新設及び改良いたしました。

次に、4目水防費について説明いたします。1水防資機材整備事業といたしまして、11万4,000円、水防活動用の土のう袋、真砂土等を整備しております。

以上をもちまして、平成27年度消防費の説明を終わらせていただきます。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。安富委員。

○委員（安富法明君） 1点だけお聞きをするんですが、今、防火水槽の設置の——成果報告書の66ページですね。耐震性貯水槽設置事業ということになっておるんですが、ということになるとですね、既設の防火水槽っていうのは耐震性がないというふうに考えたらいいんでしょうか。またその場合だったら、どのような対策といたしますか対応を考えておられるんでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 松永消防長。

○消防長（松永潤君） 安富委員の御質問にお答えをいたします。耐震性貯水槽についての質問であると思います。耐震性貯水槽は、阪神大震災が発生した後にその際に既設の防火水槽で消防設備としての役目を果たさなかったということから、耐震性貯水槽の設置が各市町村で進められているものです。

美祢市内には、例えば20トンの防火水槽や40トンの防火水槽、また消火栓があります。自然水利もあります。この自然水利、現在の水利については、現状そのまま、なおかつそれにプラスして地震が発生した際に、活用できる耐震性貯水槽を各年2基で整備する計画としております。

ただし、新しく設置をした耐震性貯水槽でその地域の水利を賄える状況であれば、

現在ある古い防火水槽については、解体・撤収等を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に、教育費を議題といたします。執行部より説明を求めます。長谷川学校教育課長。

○学校教育課長（長谷川裕君） 始めに35ページの総務費、人材育成推進事業についてであります。まず、みね子ども交流塾開催事業になります。よろしいでしょうか。総務費、35ページになります。では、説明を続けさせていただきます。

まず、みね子ども交流塾開催事業になります。市内小中学生が集い、豊かな体験活動を通じて視野を広げ、次代の担い手となる資質を育てる事業として、37万1,000円を支出しております。

次に、特色ある学校活動支援事業になります。草炎太鼓、マーチング、その他、学校の伝統ある教育活動を支援するために49万8,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 続きまして、資料の66ページをお開き願います。

10款教育費・1項教育総務費・2目事務局費になります。

まず、1小中学校閉校記念事業補助金になります。秋芳南中学校と秋芳北中学校が統合し、新しく秋芳中学校が平成28年4月1日に開校いたしておりますが、秋芳南中学校及び秋芳北中学校の閉校記念事業に対し、50万円ずつ補助を行っております。

次に、2特別支援教育推進事業になります。山口県立宇部総合支援学校美祢分教室にかかる施設管理経費と送迎用車両の購入及び運営経費として、535万1,000円を支出しております。

○委員長（猶野智和君） 長谷川学校教育課長。

○学校教育課長（長谷川裕君） 続きまして、指導費であります。

まず、学力向上対策プロジェクト事業になります。児童生徒の実態把握を行うための標準検査を行い、その結果を学力向上対策に生かす取り組みに195万円を支出し

ております。

次に、新しい学校を作る美祢コミュニティ・スクール推進事業になります。市内全ての小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、地域とともにある学校づくりを進めるため、210万5,000円を支出しております。

次に、世界に羽ばたく人財育成事業になります。市内教職員の授業力、指導力向上のための研修会を行うために43万9,000円を支出しております。

次に、夢をつなぐ特別支援充実事業になります。特別支援教育推進リーダーを配置し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応した支援や学びを大切にするため、75万9,000円を支出しております。

次にMINEグローバル人財育成推進事業になります。27年度からスタートした新規事業となります。市内小中学生を対象に英語力向上を図るためイングリッシュ・ビレッジ、イングリッシュ・クラブを開催いたしました。また、英語検定料補助を行い、受験機会の拡大と学習意欲の向上を図りました。そのために124万円を支出しております。

次に、学校図書館充当事業になります。学校図書館担当職員を配置し、学校図書館の機能充実を図るため、40万3,000円を支出しております。

次に、いじめ等生徒指導対策事業であります。

まず、子ども自立支援事業になります。ソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを含めたスクールサポートチームを編成し、問題を抱える子どもたちの早期発見、早期対応に努めるため142万円を支出しております。

次に、いじめ問題対策事業になります。美祢市いじめ問題対策協議会や、いじめ問題調査委員会を開催し、18万4,000円を支出しました。

次に、みね型地域連携教育推進事業になります。コミュニティ・スクール・コンダクターを配置し、豊田前、秋芳地域の市内2中学校区の学校運営協議会の機能向上や、地域ネットワークの向上を図るために248万7,000円を支出しました。

以上です。

済みません。続きまして、68ページの外国青年英語指導事業になります。3名の外国語指導助手を配置するため1,332万3,000円を支出しております。

続きまして、教育振興費であります。

まず、小学校特別支援学級支援事業になります。生活面の介助や学習補助を行うための介助員を配置するため、374万円を支出しております。

次に、小学校学級支援補助教員活用事業になります。特別な配慮を要する児童への対応や、きめ細かな指導体制の充実を図る学級支援補助教員を配置するため、809万2,000円を支出しております。

次に、小学校教育振興業務教科書改訂事業になります。4年に一度行われる教科書の改訂に伴い、教材を整備するため2,387万6,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） 続きまして、69ページの3目小学校費学校施設整備費になります。

まず、2小学校施設耐震化事業になります。於福小学校屋内運動場の耐震補強工事及び屋外便所新設工事等として3,676万3,000円を支出しております。

次に、3小学校非構造部材耐震化事業になります。東厚小・大嶺小・麦川小・豊田前小・大田小・綾木小・淳美小屋内運動場の非構造部材耐震対策工事等として1億3,090万5,000円を支出しております。

次に、4秋芳北部地域統合小学校整備事業になります。秋芳北部地域統合小学校設計業務委託料として、920万円を支出しております。なお、3,148万3,600円を平成29年度に繰り越しをいたしております。

続きまして、3項中学校費・1目学校管理費になります。

まず、2スクールバス等運行事業になります。秋芳中学校生徒の通学手段確保のため、スクールバス2台の購入経費として1,031万9,000円を支出しております。

次に、3開校準備事業になります。秋芳中学校開校に向け、校旗等の物品購入等の経費として252万4,000円を支出しております。

続きまして、70ページの3目学校施設整備費になります。

まず、2中学校非構造部材耐震化事業になります。伊佐中・大嶺中屋内運動場の非構造部材耐震対策工事等として5,549万円を支出しております。

次に、3秋芳中学校プール整備事業になります。秋芳プールを解体し、その場所

の一部に秋芳中学校の25メートルプールを整備しましたが、これに1億763万5,000円を支出しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 古屋生涯学習スポーツ推進課長。

○生涯学習スポーツ推進課長（古屋敦子君） 続きまして、5項社会教育費・1目社会教育総務費について御説明します。

まず、項目の3番目になりますけれど、放課後子ども教室運営事業として、325万4,000円を支出しております。これは、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを確保するため、地域の方々の参加を得て、学校・公民館等において、さまざまな体験活動や学習活動を行う事業であり、財源といたしましては、県補助金を充てております。

次に、4秋吉台国際芸術村運営事業として、2,884万円を支出しております。これは、指定管理者である公益財団法人山口きらめき財団に対する指定管理委託料です。

次に、7の世界スカウトジャンボリー歓迎交流事業として、151万9,000円を支出しております。これは、昨年8月に開催された第23回世界スカウトジャンボリーに、世界各国から参加したスカウトの皆さんが、美祢市に訪問した際の歓迎交流事業の実施に係る経費であります。

なお、地域プログラムにおける美祢市への訪問スカウトは、39カ国、1,158人でありました。

財源として、市町村振興協会世界スカウトジャンボリー開催経費助成金を充てております。

続いて、次のページ、71ページになります。2目公民館費であります。1の公民館管理運営事業につきましては、市内の13公民館の管理運営に係るものであり、13館合わせて、5,125万2,000円を支出しております。

各公民館の利用状況については、71ページ、72ページの記載のとおりであります。

続きまして、ページをめくっていただいて、72ページになります。中段の3目図書館費であります。図書館管理運営事業として、1,205万4,000円を支出しております。これは、美祢、美東、秋芳の各図書館の管理運営に係るものであり、

3館合わせた図書の館外利用冊数は9万5,962冊でありました。

続いて、その下の市民会館費であります。市民会館管理運営事業として、1,764万1,000円を支出しております。これは、美祢市民会館の管理運営に係る経費であります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 井上文化財保護課長。

○文化財保護課長（井上辰巳君） 続きまして、同じ72ページ下段の文化財保護費でございます。1長登銅山跡地整備事業に272万9,000円を支出しております。

これは、平成27年度から平成30年度までの継続で、国庫補助5割の事業でございます。平成27年度は国史跡長登銅山跡の史跡整備に向けた遺坑の確認調査に先立つ地形測量を実施し、地形測量図を作成したものです。平成28年度から30年度までの3年間でこの地形測量図をもとに発掘調査を行うこととしております。

次のページをお開きください。続きまして、文化施設費について説明いたします。これは、歴史民俗資料館等の施設運営のための経費で歴史民俗資料館管理運営事業に355万7,000円、化石館管理運営事業に145万6,000円、大仏ミュージアム管理運営事業に609万4,000円を支出しております。各施設の利用状況は一覧表のとおりでございます。合計で1万6,527人の方に御利用いただいております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 古屋生涯学習スポーツ推進課長。

○生涯学習スポーツ推進課長（古屋敦子君） 続きまして、8目生涯学習のまちづくり推進事業費について御説明します。

項目の2番目になりますが、市民大学公開講座事業として、87万4,000円を支出しております。これは、11月に脚本家の中園ミホさん、2月に映画監督の佐々部清さんを講師にお迎えした市民大学講座の開催に係る経費であります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） ページを1枚めくっていただきまして74ページをごらんくださいませ。

目の12、ジオパーク推進事業費を説明いたします。

平成27年度は、日本ジオパーク申請の年でありました。上半期は、5月23日に千葉県幕張メッセで行われた公開プレゼンテーションと8月6日、7日の現地審査に重点的に取り組み、市民の皆様のおかげをもちまして、9月4日に無事日本ジオパークに認定していただいたところでございます。

下半期は、ガイド、ジオガイドの育成と出前講座やジオカフェによる普及活動を中心に取り組んでまいりました。

まず、1ジオパーク推進事業に2,609万7,000円支出しております。市民の皆様方のジオパーク活動を支援することを念頭におきまして、(1)学術連携から案内看板の設置など――(8)ですが、これらを実施しております。

2番のジオパーク拠点施設将来設計構想検討事業に5万2,000円を支出しております。秋吉台科学博物館や資料館などの拠点施設について、今後のあり方を有識者を交えて検討する事業でございます。昨年度は、山口大学田中副学長を会長といたしますMine秋吉台ジオパーク将来構想検討委員会が市内の該当施設を視察され、御意見を頂戴したところでございます。

75ページにまいりますが、ジオパーク拠点施設活動充実事業に300万円支出しております。秋吉台科学博物館などのジオパーク拠点施設の施設整備や研究活動を目的とした事業でございます。主には、博物館内の壁の改修工事や、ジオパーク展示パネルの購入などに充てております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 古屋生涯学習スポーツ推進課長。

○生涯学習スポーツ推進課長（古屋敦子君） 続きまして、その下、6項保健体育費について御説明します。

まず、1目保健体育総務費であります。

生涯スポーツの推進のため、各種事業、大会等を開催しておりますが、主な事業として、3の美祢秋吉台高原マラソン開催事業に280万円、4の美祢秋吉台カルストウォーク開催事業に140万円を支出しております。

続きまして、2目体育施設費につきましては、各社会体育施設の維持管理等に係る経費であります。

このうち、一番下の欄になりますが、6の体育施設設置事業として、8,610万4,000円を支出しております。(1)の大嶺小学校グラウンドの夜間照明施設の

設置工事として、245万2,000円、以下、(2)から(6)までは、秋芳テニ  
ス場の設置に関連する工事となりますが、合計で8,201万3,000円を支出し  
ております。

なお、秋芳テニス場については財源として、日本スポーツ振興センター、スポーツ  
振興くじ助成金を充てております。

以上です。

○委員長(猶野智和君) 千々松教育総務課長。

○教育総務課長(千々松雅幸君) 続きまして、76ページの3目給食施設費になりま  
す。

調理場数適正化事業になります。平成27年度末をもって豊田前学校給食共同調理  
場を廃止し、厚保学校給食共同調理場に統合するため、関係する施設の改修工事や、  
配送車輛の購入のため607万3,000円を支出しております。

以上でございます。

○委員長(猶野智和君) 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はご  
ざいませんか。三好委員。

○委員(三好睦子君) 教育費でお尋ねいたします。市内の中学校でスポーツや音楽コ  
ンクールなど、全国大会や中国大会などがなされたのでしょうか。お尋ねいたします。

○委員長(猶野智和君) 長谷川学校教育課長。

○学校教育課長(長谷川裕君) 三好委員の御質問にお答えいたします。私この春こち  
らのほうに参りましたけれども、昨年度表彰を受けたということはなかったように記  
憶しております。

以上です。

○委員長(猶野智和君) 三好委員。

○委員(三好睦子君) ちょっとお聞きしたわけがですね、中学校でこういった全国大  
会や中国大会に行くときの費用が保護者負担になってると思うんですが、市のほうか  
ら補助があるかないか、ちょっとお尋ねしたかったんですが、いま大会がないとい  
うことはちょっとわからないところなんですが、市の補助制度があるかないかとい  
うことと、もしなければ、新たにつくって保護者負担をなくしていただくようお願い  
できないかというお尋ねで、尋ねますがどうでしょうか。

○委員長(猶野智和君) 三好委員、どの箇所に関連することでしょうか。(発言する

者あり) それなら、また要望になりますので。

○委員(三好睦子君) 大会があったかなかったかをお尋ねしましたので、ちょっと要望のほうになってしまいましたけれども。

○委員長(猶野智和君) 予算に絞って。

○委員(三好睦子君) また改めて要望で申しませう。

○委員長(猶野智和君) 別の機会でよろしくお願ひします。はい。杉山委員。

○委員(杉山武志君) 私のほうからは3点お尋ねできたらと思います。68ページの上部にあります、外国青年英語指導事業です。1,332万3,000円。これ、使われて結構なんですけれど、どういった内訳かというのをちょっと教えていただきたいなと思います。

それから2点目は、次のページ、69ページの3項中学校費・1目学校管理費の3番目。開校準備事業。これに252万4,000円支弁されております。これも話しを伺いますと、旧秋芳北中学校などたくさんの教材等まだ使えるものが処分されたというふうにも伺っております。これだけのお金が必要だったのかと、その辺を確認させていただけたらと思います。

3点目がですね、次のページの70ページの3項。中学校費の3番目、秋芳中学校プール整備事業。これとですね、75ページの2目体育施設費の6番の(5)ですね。秋芳中学校プール新設工事、追加工事。これ、私の認識としては、市民プール、以前は町民プールでしたので市民プールという感覚でございましたんですが、秋芳中学校用プールということになりますと、これだけ経費を使われて、なぜ同敷地内に造られなかったのかなという思いがあります。その辺あちらに造られた、経費的にこうだからという位置付けがありましたら、お教えいただけたらと思います。よろしくお願ひします。

○委員長(猶野智和君) 長谷川学校教育課長。

○学校教育課長(長谷川裕君) さきほど、質問がありました外国青年英語指導事業の内訳について御説明をさせていただきます。

さきほど説明させていただきましたように、現在3名の英語指導助手を美祢市では招致しております。その3名の御指導助手の報酬は1,840万—1,000万円を超えているということになります。その他には社会保険料であったり、雇用保険料。そして、旅費を必要とします。昨年度は、2名の御指導助手が入れ替わりを行いました。

た。帰国の旅費、それから招致するための旅費が必要になります。それから、各学校に移動を行いますのでそのための旅費等をトータルしまして、そういった金額になっております。

済みません。さきほどの報酬費の金額を間違っております。1,084万円——1,000万円程度の報酬になっております。

○委員長（猶野智和君） 千々松教育総務課長。

○教育総務課長（千々松雅幸君） それでは、続きまして杉山委員の中学校費、学校管理費、開校準備事業におきます備品の関係でございます。秋芳北中学校閉校に伴いまして、秋芳北中学校にありました備品につきましては、市内各校必要なものはないかということで有効活用するように必要なところに再配分をするようにいたしております。

ここにこのたび支出した経費につきましては秋芳中学校、新しく誕生しておりますので校章等も替わっております。そのことによって優勝旗、校旗、優勝旗、そういったものが主な購入の経費の内訳というふうになっております。

続きまして、同じく3目の学校施設整備費。3の秋芳中学校プール整備事業の秋芳プールの整備場所についての御質問だったと思います。当時秋芳南中学校の場所につきましては、南中学校の地盤の関係もありまして、近くには民家もありますので、そういったことも考えまして秋芳プールを解体し、その場所に秋芳中学校のプールとして整備をすることとしたところであります。

以上になります。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかにございますか。山中委員。

○委員（山中佳子君） 成果報告書74ページ、ジオパーク推進事業についてお尋ねいたします。このジオパーク推進事業、2,609万7,000円となっておりますが、決算書の127ページになりますが、一番大きな支出というのが負担金補助及び交付金、これが1,857万2,654円となっておりますが、その内訳を教えてください。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 山中委員の御質問にお答えします。負担金1,854万8,000円。これは、ジオパーク推進協議会への負担金でございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 山中委員。

○委員（山中佳子君） 一括して協議会に出されております。ですよね。その内訳というのはそちらではわからないのでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） ジオパーク推進協議会への負担金の内訳でございますが、これはジオパーク、M i n e 秋吉台ジオパーク推進協議会の中で協議会委員によりまして総会で可決したものでございますが、事務局費としてトータルで653万2,710円、それから事業費といたしまして、トータルで1,201万6,207円。合計がさきほど申しました1,854万8,917円ということになります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 山中委員。

○委員（山中佳子君） 事業費の1,200万、その内訳というのはわかりますか。

○委員長（猶野智和君） これが3回目になりますが、よろしいですか。はい。末岡教育委員会事務局次長。

○教育委員会事務局次長（末岡竜夫君） 山中委員の御質問にお答えいたします。全部で9項目ありますが、全部言うと、くどくなりますので大きいものをちょっと言わせていただきます。一番大きいのが、委託料。これは、PRパネルの製作であったりとかですね、パンフレットの製作。それから、落語の映像を制作いたしましたからその委託料。この委託料が合計で712万659円でございます。

そのほか、協議会だよりっていうのを毎月市報と一緒に出してありますが、それらの印刷製本費。これが、116万9,338円。それからもう少し大きいのが、広告料。ジオパークPR事業ということで、広告料を山口新聞等ほかにもだしております。それが130万9,240円。その他は会場の使用料でありますとか、報償費とかそのあたりでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかにもございますか。はい、岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それでは、主要施策成果報告73ページです。6目で文化施設費ということで予算付いております。この中で、歴史民俗資料館管理運営事業ほか、3つの事業があります。この中で、この27年度で例えばで発掘——この資料館等で

発掘された、こういった化石などを、展示してそしてその運営等にお金がかかったとか、また大仏ミュージアム館につきましても新しい今までにない展示物が入ってきたとか、その辺の入りと出っけていますか、そういった新しい資料がこの27年度で展示されてきたかどうか、追加されたか。この辺についてまず聞きたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 井上文化財保護課長。

○文化財保護課長（井上辰巳君） 岡山委員の御質問にお答えします。文化施設費の中の管理運営事業につきまして、27年度につきましては、特別新たな出土品が出て、そちらを展示をしたということはございません。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） それでですね、この歴史民俗資料館。美祿市だけでもないんですけども、この利用人数については1年で1,819人。これはですね、1日平均あの民俗資料館何人来られたかという5人程度なんですよね。そして、化石採集館、また化石館。大仏ミュージアムは結構いろいろ興味のある展示がされてまして、銅鉾山のいろいろ歴史的なことが観れて、また大きなディスプレイでいろんな説明があって結構大仏ミュージアムのほうは割合利用者が来ておられるなど、思っております。やっぱりこういった資料館のわくわく魅力感があるところは多いけれども、なかなかですね。歴史民俗資料館というのは他の市でもなかなか利用者、入館者が少ないというこういうことになっております。

それで、今後、今説明も歴史民俗資料館で新たな発掘、発見があつて、なんか話題性のある展示がこの27年度にはなかったということでありましてですね。なかなかこの歴史民俗資料館の入館者を集めることがちょっと難しいのかなと思っております。

今後ですね、1日5人しか来られてないですけども、こういった民俗資料館をこういう化石館に関しまして、今後どう取り組みを魅力あるものにされるかこれについてお尋ねしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 井上文化財保護課長。

○文化財保護課長（井上辰巳君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。今おっしゃられたようになかなか利用者の人数が伸び悩んでおるという状況でございますが、歴史民俗資料館に来られたお客様にはその足で化石館に。また、化石館に来られたお客

様にはその足で歴史民俗資料館に続けて足を運んでいただけるような方策を今年考えて、今実施をしておるところでございます。

また、夏休みのイベントとして、親子化石教室、それから山口県埋蔵文化財センターの巡回展を今年度は引き受けるなどして少しでも観覧者増に努めておるところでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡崎教育長。

○教育長（岡崎堅次君） 今の課長の答弁に付け加えさせていただきます。歴史民俗資料館、それから化石館においても、確かに入館者がふえることに越したことはないんですが、美祢市の施設として次の世代にしっかり歴史を伝えていく、美祢市の歴史を伝えていくものとしての存在というものも大きいかと思います。入館者をふやすとともに、これからの若い世代に美祢市の歴史を施設を使ってつないでいきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 一つ一つの施設、まあ魅力あっていいときもあるんですけども、これをですね、今後はM i n e 秋吉台ジオパーク構想の拠点施設ということで、今後そういったなかで、それぞれ今施設が単発的にありまして、これらを今後ジオパーク構想の拠点として、今後委員会等で協議されてある程度集約されるとは思いますが。それまで若干時間かかりますのでやっぱし、まあ民俗——歴史民俗資料館について多少なりとも、ちょっとひと工夫、ふた工夫ですね。入館者がふえてくるようなこういった様々な手の打ち方といいますか、なかなかそういったところをしっかりと押し進めてまいっていただきたいなあと思っております。いろいろ旭川の動物園もちょっと角度違うんですけど、閉園しそうな、こういった動物園がペンギンも使ってピンチをチャンスにやったというところがありまして、決して美祢はピンチじゃないんですけども、文化財の保護としては非常に重要な意味合いも持っておりますので、どうか今一步入館者溢れるようなこういった何かワンポイントも結構ですのでひとつ魅力あるものを打ち出して、要するにジオパーク構想拠点施設なるまでにこういったものを2カ所ふえる、こういった対応をね、していただきたい。これは要望であります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。末永委員。

○委員（末永義美君） 成果報告書67ページです。子ども自立支援事業についてお伺いします。その中のいじめ問題ですか。この辺についていろいろ書かれていらっしゃるように学校を訪問されているということを見てわかりますけど、この予算、この問題非常に重要な問題であつてもっと予算が必要ならば、もっと予算をかけてほしいという思いがあつての質問です。

これ、学校のほうに児童相談所等、また福祉——市の福祉担当課か教育委員会様のほうから御訪問されているとの、定期の早期発見等の対策にも努めるとありますが、これは教師、学校各位が対象なのか、子供に対して対象なのか。そして、これが年に何回ぐらい、市内の何箇所の学校等での実績があるのか。またそこで発見された事例、これからの課題になるようなものがあればまずお示してください。

○委員長（猶野智和君） 長谷川学校教育課長。

○学校教育課長（長谷川裕君） 末永委員の御質問にお答えいたします。子ども自立支援事業についての御質問です。主にここで私が申し上げましたことはスクールサポートチームの編成ですけれども、それらがどのように動いているかということの具体を少しお話しをさせていただきたいと思ひます。

各学校の巡回訪問を年に2回行っております。それから、さまざまな問題を学校抱えておりますけれども、そういった個別のケースに対応した緊急派遣というふうなものも行っております。スクールカウンセラーを20回、スクールソーシャルワーカーを9回派遣をしているという現状がございます。

それから、この事業の中には、適応指導教室。学校に来れない子供たちの心の広場づくりということで毎週火曜日に午前中、そういう教室を開いておりますけれども、そういったものの事業費も含まれているというふうにお答えしておきたいと思ひます。ほんとに今議員さんの言われたとおり、さまざまな問題を抱えている子供を救う、大切な事業となっております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 末永委員。

○委員（末永義美君） 子供が実際に抱えている問題、その子供が家庭で抱えている問題、それが子供たちの心の発達、進学や進路の方向性までも変えてしまう部分がある

のだと。そこが直結ではありませんが、いじめにというような次のステージに発展する場合があります。これは、いじめる側もいじめられてしまった子供たちも1日にして立場が逆転するような純粹なうえの子供特有の残酷さがあります。

どうか子供にソフトに接する面と訪問して誰かがきて、話しができるというか早期発見できる場合と逆に電話でも何でもいいですけども、子供が誰にも知れない場所で「あのね」って声をかけてこれるような環境も同時に設置してほしいと思いますが、その辺の新たな対策といたしますか、その辺の新しい取り組みのほうは今考える点はございますでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 長谷川学校教育課長。

○学校教育課長（長谷川裕君） さきほどの御質問にお答えいたします。この度の予算編成等で、さきほどの子供たちの心の居場所づくりこういったものをもう少し充実させていこうというふうに考えております。

さきほどちょっと説明がたりませんでしたけれども、スクールソーシャルワーカーであったり、スクールカウンセラーであったり。これらは保護者、それから子供たちにも相談の窓口というふうになっております。そういったところの活動が充実できるように努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかにもございますか。杉山委員。

○委員（杉山武志君） 申し訳ありません。もう一つ質問させてください。72ページの3目図書館費。こちら120万程度、余って——余ってじゃない——不用額が出ておろうと思うんですが、これは施設のですね。改修——軽微な工事等、そういったものには使えない予算なんでしょうか。ちょっとお尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 古屋生涯学習スポーツ推進課長。

○生涯学習スポーツ推進課長（古屋敦子君） ただいまの杉山委員の御質問にお答えします。図書館費の不用額でございますが、決算書のほうの118ページ、119ページをごらんになったらお分かりかと思いますが、この多くが使用料の不用額として95万5,000円余っております。この使用料につきましては、図書館のシステム改修において、システム使用料を計上しておったところでございますけれど、システムの変更について若干予定より遅れまして、不用額が発生したということでございます。予算不用額については使用料でしたので、施設整備には充ててはございません、と

いうこととございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 杉山委員。

○委員（杉山武志君） ありがとうございます。各図書館においても言えることなんでしょうけども、窓枠が腐食して開閉ができないとか扉が重たくなっているとかそういった現状もありますので、そういったことに使っていただければなあという思いで質問させていただきました。また、次年度予算等でですね、その辺等もお組みいただければありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（猶野智和君） ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

次に、災害復旧費を議題といたします。執行部より説明を求めます。志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） 決算書一般会計部門の130ページから131ページになります。

成果報告書の76ページ、11款災害復旧費・1項農林施設災害復旧費・1目単独災害復旧費につきまして、1現年発生災害復旧費として、1,943万3,000円を支出しております。

これは、農地災害復旧事業2件、裏山崩土取除工事7件、林道災害復旧事業5件の工事費及び農地等少額災害復旧に係る補助金53件を交付しております。

2補助災害復旧費です。1現年発生補助災害復旧事業につきまして、6,409万1,000円を支出しております。これは、農地等合計32件に係る災害復旧工事費及び測量設計に係る委託料などとなっております。

○委員長（猶野智和君） 中村建設経済課長。

○建設経済課長（中村壽志君） 続きまして、その下、2項土木施設災害復旧費・1目単独災害復旧費でございますが、主な事業といたしまして、カッコ1の市道川平線外倒木処理業務ほか17件、(2)の市道河原丸山線応急復旧工事ほか18件などに、2,974万9,000円を支出しております。

続きまして、その下、2目補助災害復旧費でございますが、主な事業といたしまして、(2)の祖母ヶ河内川河川災害復旧工事ほか20件などに、6,044万円を支出しております。

なお、不用額の605万2,000円の主なものといたしましては、委託料でございまして、主には落札減によるものでございます。

災害復旧費の説明は、以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

以上で、本委員会に付託されました議案第85号平成27度美祢市一般会計決算の認定についての説明・質疑までを終了いたしました。

それでは、明日、午前9時30分より、当委員会を開催し、市長出席のうえで、一般会計決算の総括質疑を行い、その後、討論・採決を行いますので、よろしくお願いたします。

本日は、これにて散会いたします。御審査・御協力、誠に有難うございました。お疲れでございました。

午後4時44分閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成28年9月29日

予算決算委員長

梅野 智利